

mitsubishi

CAR NAVIGATION SYSTEM

MODEL

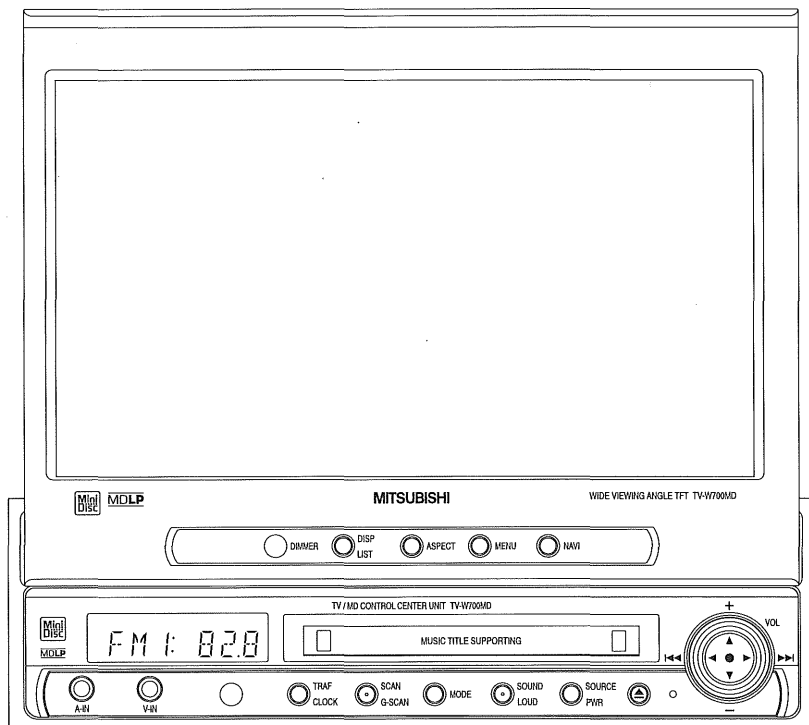
CU-H9000シリーズ

TV/MDコントロールセンターユニット部取扱説明書

- お買い上げいただきありがとうございます。

この製品の機能を十分に活かし正しくお使いいただくため、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。お読みになったあとは大切に保管し、わからないことや不具合が生じたときもう一度ご覧ください。きっとお役に立ちます。

- 本書は別紙、ナビゲーションシステム取扱説明書、取付要領書、保証書、サービス相談窓口一覧表と共に大切に保管してください。



目次

はじめに

主な特長	3
ご注意とお願い	4

ご使用前に

各部の名称とはたらき	8
リモコンについて	13
本体とリモコンのボタンの対応について	17

操作方法

準備編

モニターの立ち上げと調節	18
機能設定画面について	20
システム設定画面について	21
モニター設定画面について	22
時計を設定する	23
ソースの切換え	24

オーディオ編

ラジオの聞きかた	25
周波数の登録(プリセット登録)のしかた	26
記憶された周波数の呼び出しかた	27
MDの聞きかた	29
MDのいろいろな再生	32
交通情報を聞く／時刻を表示する	35

テレビ編

テレビの見かた	36
放送局の登録(プリセット登録)のしかた	37
記憶された放送局の呼び出しかた	38
放送局名称の変更	40

その他

ビデオの見かた	41
カメラ映像の見かた	42
ナビゲーションを見るには	43
音声調節について	44
映像調節について	48

ご参考までに

故障かなと思ったら	52
リセットについて	55
機能設定メニュー(メニュー別索引)	56
索引	57
後席モニタの映像について	58
保証書とアフターサービス	59
仕様	60
MD ディスクの取扱い	62

主な特長

オーディオチューナー部

- 45W × 4ch ハイパワーアンプ搭載
- モニター収納時にも操作内容がわかるサブ液晶装備
- MDLP 対応 & グループ再生機能対応によるディスクタイトル表示 (JIS-第2水準相当対応)
- 放送局名表示(2004年3月データ)

テレビチューナー部

- 車載用 VTR 機器接続に便利なピンジャック入力端子を装備
- TV1、TV2 の2つのポジションに合計 18 局のメモリー機能付き
- 2 か国語放送やステレオ放送に対応する音声多重復調回路を内蔵
- 4ch ダイバーシティアンテナ対応
- 後席モニター用映像出力ライン(RCA 端子)装備
- 放送局名表示(2004年3月データ)

モニター部

- 対角 18cm 高品位ワイド画面・広視野角液晶(336,960 画素)を採用
- 液晶画面を見やすい明るさに自動調光するオートディマー機能付き
- 5 種類 (ノーマル/フル/ズーム/シネマ/ワイド) の画面モード切換え機能付き
- バックカメラ入力対応(RCA 端子) バックギア連動・非連動選択可能
- 外部入力2系統対応 フロント入力(φ 3.5 ミニ)、リア入力(RCA 端子)

ご注意とお願い

- 製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示とともに取り扱い上の注意点を記載しています。
- 絵表示は次のような意味を示しています。



警告

この表示の欄は、「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」であることを示しています。



注意

この表示の欄は、「人が障害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」であることを示しています。

- お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



注意

この表示記号は注意(警告を含む)を促す内容を表わしています。



禁止

この表示記号は行為を禁止する内容を表わしています。



実行

この表示は行為を強制したり指示する内容を表わしています。



警告

安全上お守りいただきたいこと

走行中は運転者による操作をしない

走行中は運転者による操作をしないでください。交通事故の原因となります。運転者が操作する場合は、必ず安全な場所に停止してから操作してください。



禁止

運転中にテレビやビデオを見ない

運転者がテレビやビデオを見るときは、必ず安全な場所に車を停車してからご覧ください。運転中にテレビやビデオを見ると交通事故の原因となります。



禁止

故障状態で使用しない

画面が映らない、音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。事故、火災、感電の原因となります。



禁止

挿入口に異物を入れない

ディスク挿入口に異物を入れないでください。火災の原因となります。



禁止

異常が起きたら使用しない

万一、異物が入った、水がかかった、煙が出る、変な匂いがするなど異常が起きましたら、直ちに使用を中止し、お買い上げ店または、別紙サービス相談窓口一覧表記載の最寄りのサービス店にご相談ください。そのまま使用になると事故、火災、感電の原因となります。



禁止



警告

安全上お守りいただきたいこと

落雷に注意する

雷が鳴りだしたら、アンテナ線やオーディオなどに触れないでください。落雷による感電の危険性があります。



注意

指定以外のヒューズを使用しない

ヒューズを交換するときは、必ず指定のヒューズをご使用ください。指定以外のヒューズを使用すると、事故や火災の原因となります。



禁止

分解、改造をしない

本機を分解したり、改造しないでください。
事故・火災・感電の原因となります。



禁止



注意

安全上お守りいただきたいこと

コードを引っばらない

コードを引っばったり、キズつけしないでください。火災、感電の原因となることがあります。



禁止

手や指のはさみ込みに注意してください

ディスク挿入口に手や指を入れしないでください。また、液晶パネル部の引き出し、収納時操作時、角度調節時に手や指をはさまれないようにご注意ください。けがの原因となることがあります



注意

強い衝撃を与えない

落としたり、ぶつけたりして強い衝撃を加えない様にしてください。破損や故障の原因となります。



禁止

エンジンを止めた状態で使用しない

エンジンを止めた状態で長時間使用するとバッテリー上がりの原因となります。風通しのよい場所でエンジンをかけた状態で使用してください。



禁止

揮発性のものをかけない。ゴム・ビニール製品を接触させない

殺虫剤をかけたり、ベンジンやシンナーなどで拭いたり、ゴム・ビニール製品を長時間接触させると変質したり塗料がはげるなどの原因となります。



禁止

液晶パネルを押さない

液晶パネルを押さないでください。故障の原因となります。



禁止

適正な音量で使用する

運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度でご使用ください。車外の音が聞こえないと事故の原因となることがあります。



実行

ご注意とお願い(つづき)

携帯電話や無線機について

- 本機の近くで携帯電話や無線機を使用すると画面が乱れたり、車両スピーカーからの音声にノイズが入ることがあります。携帯電話や無線機の電源を切るか、本機から遠ざけてご使用ください。

液晶パネルについて

本機を使用中に次のような現象が起きることがあります。

- 液晶画面に薄い横縞が見えたり、残像(前に映っていた像が薄く残ること)が出る場合があります。
- 液晶画面の中に小さな黒い点や白く光る点(輝点)が出る場合があります。これは液晶パネル特有の現象で故障ではありません。
- 寒いところでお使いになるときは、電源を入れた後、しばらく画面が暗いことがあります。時間がたつと正常な明るさにもどります。
- 液晶画面に直射日光が当たると光が反射して映像が見えにくくなりますので直射日光をさえぎってください。
- 液晶画面照明に使用している小型冷陰極管には、寿命があります。(寒いところで使用すると寿命が短くなることがあります。)画面がチラついたり、暗くなってきたときはお買い上げの店、または別紙サービス相談窓口一覧表のサービス店にご相談ください。

高温検知について

- 本ディスプレイは異常高温検知機能を搭載しています。ディスプレイ内部の温度が規定以上に上昇した場合は、「高温異常です。画面を消します」のメッセージが表示され約7秒後に自動的に画面が消えます。ディスプレイのいずれかのボタンを押すと復帰しますが繰り返し発生する場合は、以下の内容をご確認ください。

- 炎天下の直射日光によりディスプレイ本体が熱くなっていませんか？



ディスプレイを涼しいところで冷却してください。

- ディスプレイをエアコンの吹き出し口付近(熱風が吹きかかる場所)に取り付けていませんか？



ディスプレイ取付位置を再度ご確認ください。

上記の処置で症状が改善されない場合はディスプレイの故障が考えられます。ただちに使用を中止し、お買い上げの店、または別紙サービス相談窓口一覧表のサービス店にご相談ください。

TV モニターの取り扱い上のご注意

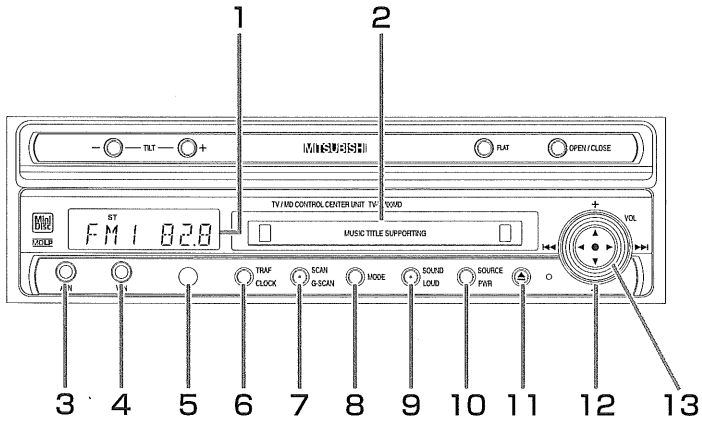
- TV モニターは次の温度範囲内でお使いください。
使用温度範囲：- 10℃～+ 55℃
保存温度範囲：- 20℃～+ 80℃
- 直射日光の当たる状態で長時間使用すると、高温になり、液晶画面が故障する恐れがあります。できる限り TV モニターに直射日光が当たらないようにしてください。また、本機を使用しないときは、できるだけ本体に TV モニターを収納してください。
- TV モニターの液晶画面は、車内での視認性向上のために露出しています。故障する恐れがありますので、液晶画面を強く押さないでください。
- TV モニターを立ち上げたときに TV モニターの上に物を置いたり、TV モニターの立ち上げ、収納、角度調節を手でつかんでおこなわないでください。TV モニターに強い力が加わると故障する恐れがあります。
- TV モニターを立ち上げたときに、TV モニターがエアコンの吹き出し口の近くになる場合は、エアコンの風が TV モニターに当たらないようにしてください。ヒーターの熱で液晶が壊れたり、クーラーの冷気で TV モニター内部に水滴がついて故障する恐れがあります。
- TV モニターの立ち上げや収納のときに、物をはさまないように注意してください。物がはさまると、TV モニターが動かなくなることがあります。TV モニターが動かなくなったときは、はさまった物を取り除いてもう一度 OPEN/CLOSE ボタンを押してください。
- エアバックなどの安全装置装着車の場合は、安全装置の作動に支障のないようにご注意ください。

お手入れについて

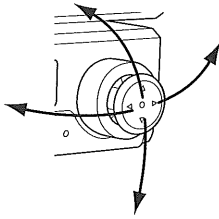
- 液晶画面に付いたホコリや汚れを清掃する場合は、電源を切ってから乾いた柔らかい布で拭きとってください。
- 液晶画面を拭くときは、ツメなどでキズつけないように注意してください。また、ぬれたぞうきんやベンジン、シンナー、ガラスクリーナーなどの薬品は使用しないでください。

各部の名称とはたらき

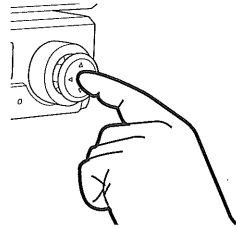
■ 本体



13 ジョイスティックの操作について



左に傾けると ◀ ボタンを押す操作になります。
右に傾けると ▶ ボタンを押す操作になります。
上に傾けると ▲ ボタンを押す操作になります。
下に傾けると ▼ ボタンを押す操作になります。



まっすぐな状態で押すと、ENTER ボタンを押す操作になります。

マークの説明



ソースがFM1、FM2、AM、TV1、TV2のときの動作を説明しています。



ソースがMDのときの動作を説明しています。

マーク無しは、共通の動作を説明しています。

1 サブ液晶画面

受信周波数(またはチャンネル)、ディスクのトラック No. などを表示します。

2 MD 挿入口

MD を挿入します。(29 ページ)

3 オーディオ入力端子<ステレオミニジャック>(A-IN)

車載用VTR機器などの音声信号入力用ジャックです。ここに接続した音声はVIDEO2のソースとなります。(41 ページ)

4 映像入力端子<ミニジャック>(V-IN)

車載用VTR機器などの映像信号入力用ジャックです。ここに接続した映像はVIDEO2のソースとなります。(41 ページ)

5 リモコン受光部

リモコンからの信号をここで受信します。(16 ページ)

6 交通情報/時計(TRAF/CLOCK)ボタン

押すと交通情報を受信します。しばらく押すとサブ液晶画面に現在時刻が表示されます。(35 ページ)

7 スキャン(SCAN/G-SCAN)ボタン



押すと記憶された放送局(周波数)を順に呼び出し、5秒ずつ受信します。(27、38ページ)しばらく押すと放送局(周波数)の登録(AUTO MEMORY)を開始します。(26、37ページ)



押すとディスク内の曲(トラック)を順に呼び出し、10秒ずつ再生します。しばらく押すと各グループの先頭の曲(トラック)を順に呼び出し、10秒ずつ再生します。(34 ページ)

8 モード(MODE)ボタン



テレビを受信しているときに押すと音声モードを切換えます。(36ページ)



再生モードを切換えます。(32ページ)

9 サウンド/ラウドネス(SOUND/LOUD)ボタン

音質調節するときを使用します。(47 ページ)しばらく押すとラウドネスのON/OFFを切り換えます。(46 ページ)

10 ソース/電源(SOURCE/PWR)ボタン

押すとソースを切換えます。しばらく押すとソースがOFFになり、時計表示になります。もう一度押すとOFFにする前のソースにもどります。(24 ページ)

11 MD 取出しボタン

MD を取り出します。(29 ページ)

12 ボリューム(VOL)つまみ

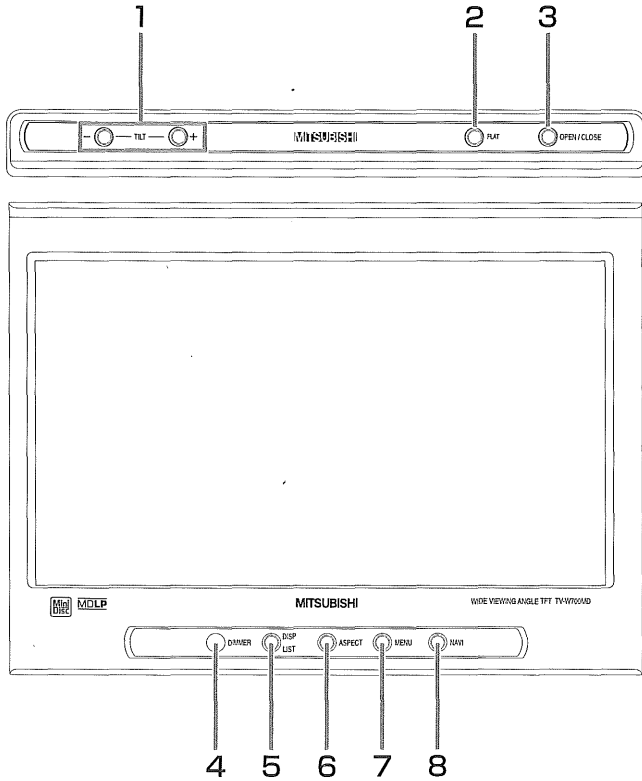
音量を調節します。(44 ページ)

13 ジョイスティック

機能設定画面およびリスト画面表示中の項目選択に使用します。(20、28、31、39 ページ)

各部の名称とはたらき(つづき)

■ モニター部



マークの説明



ソースがFM1、FM2、AM、TV1、TV2のときの動作を説明しています。



ソースがMDのときの動作を説明しています。

マーク無しは、共通の動作を説明しています。

1 角度調節(TILT)ボタン

画面の角度を調節します。+ ボタンを押すと画面が上向きになります。- ボタンを押すと画面が下向きになります。(19 ページ)

2 フラット(FLAT)ボタン

立ち上げたモニターの背後にある車両スイッチなどを操作するために、一時的にモニター部を手前に倒します。もう一度押すと元にもどります。(19 ページ)

3 オープン/クローズ(OPEN/CLOSE)ボタン

モニター部収納時に押すとモニター部が立ち上がります。モニター部が立ち上がっているとき、または、FLAT 状態のときに押すとモニター部が収納されます。(18 ページ)

4 ディマー(DIMMER)センサー

周囲の明るさを検知し、画面の明るさを自動調光します。自動調光の切換はモニター設定画面の「オートディマー」でおこないます。(50 ページ)

5 リスト(DISPLAY/LIST)ボタン



テレビを受信しているときまたはビデオを見ているときに押すと現在選択しているソースを表示します。しばらく押すと放送局を選択するためのリスト画面を表示します。(28、39 ページ)



しばらく押すと曲(トラック)またはグループを選択するためのリスト画面を表示します。(31 ページ)

6 アスペクト(ASPECT)ボタン



テレビを受信しているときまたはビデオを見ているときに押すと画面モードを切換えます。(48 ページ)

7 メニュー(MENU)ボタン

画質調節するときを使用します。(49 ページ) しばらく押すと機能設定画面が表示されます。(20 ページ)

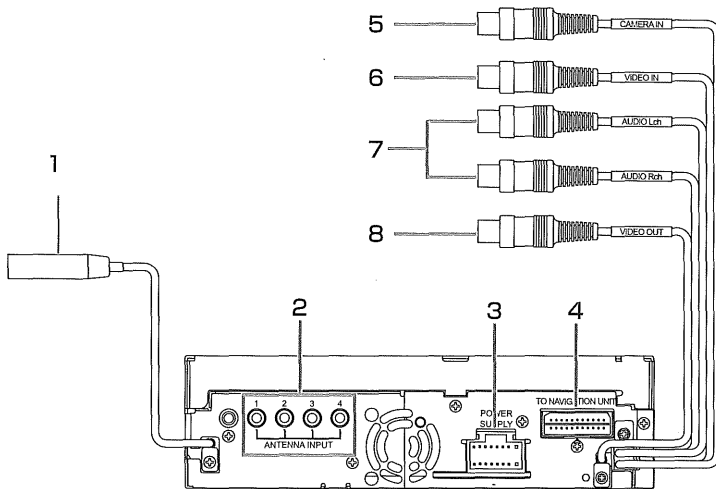
8 ナビ(NAVI)ボタン

ナビゲーション画像とソース画面の切換に使用します。

- ナビゲーションのオープニング画面表示中、動作しない機能があります。オープニング画面終了後操作して下さい。

各部の名称とはたらき(つづき)

■ 本体後面部



本体後面部は、主に取り付け時に使用します。取り付けについて、くわしくは別冊の取付要領書をご覧ください。

1 車両ラジオアンテナ入力端子

車両ラジオアンテナ信号入力用ジャックです。

2 アンテナ入力端子<ミニジャック>

(ANTENNA INPUT 1~4)

テレビアンテナ信号入力用ジャックです。

3 電源コード接続端子<16P>

(POWER SUPPLY)

付属の電源コードを接続します。

4 ナビゲーションユニット接続端子<22P>

(TO NAVIGATION UNIT)

ナビゲーションユニットからの接続コードを接続します。

5 カメラ映像入力端子<ピンジャック>

(CAMERA IN)

後方監視カメラなどの映像信号入力用ジャックです。

6 映像入力端子<ピンジャック>

(VIDEO IN)

車載用ビデオ機器などの映像信号入力用ジャックです。ここに接続した映像はVIDEO1のソースとなります。

7 オーディオ入力端子<ピンジャック>

(AUDIO Rch/AUDIO Lch)

車載用ビデオ機器などの音声信号入力用ジャックです。ここに接続した音声はVIDEO1のソースとなります。

8 映像出力端子<ピンジャック>

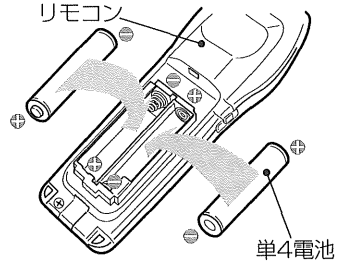
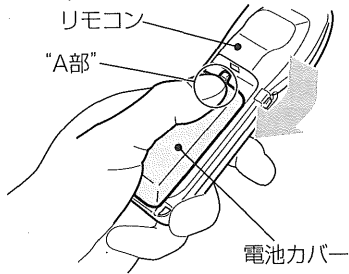
(VIDEO OUT)

後席用モニターなどの映像信号出力用ジャックです。

リモコンについて

ご使用前に

初めてお使いになるときはリモコンに付属の乾電池(単4)2個を+、-の向きに注意して入れてください。また、乾電池が消耗したときは市販の乾電池(単4)2個をお買い求めください。



1. 電池カバーを開けるときは、A部を押し下げる
2. 電池を+、-の向きに注意して入れる

乾電池の取扱いについて

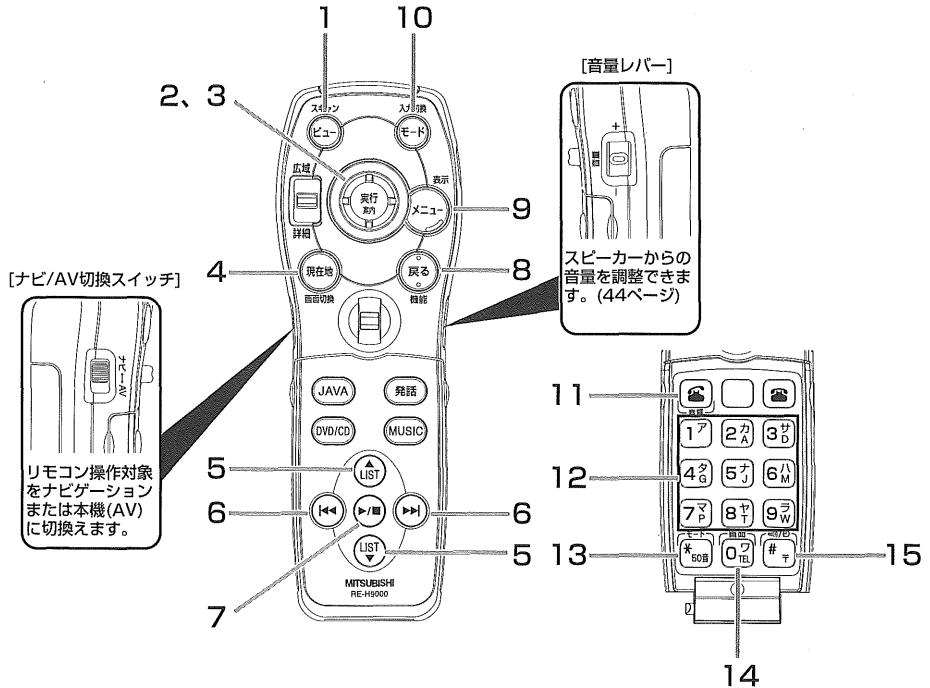
乾電池は、次のことを守って正しくお使いください。使用を誤ると、液もれ・発熱・破裂により、火災・けが・周囲の汚損の原因となることがあります。

- プラス(+)とマイナス(-)の向きを、正しく入れる
- 新しいものと古いものや、種類の違うものを混ぜて使わない
- 分解したり、ショートさせたり、火の中に投入しない
- 充電しない
- 使い切った乾電池はすぐに取り出す
- アルカリ乾電池のアルカリ性溶液が皮膚や衣服に付着したときは、きれいな水で洗い流す
また、眼に入ったときは、きれいな水で洗った後ただちに医師の治療を受ける

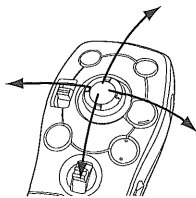
リモコンについて(つづき)

リモコンの名称とはたらき

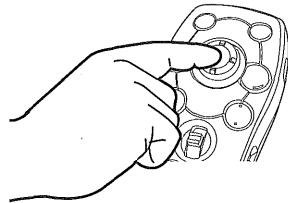
本リモコンはナビゲーションシステムと共用で使用します。ナビゲーションの操作方法についてはナビゲーションシステムの取扱説明書を参照してください。本機の操作の場合は「ナビ/AV切換スイッチ」を【AV】側に切換えてご使用ください。



2 ジョイスティック、3 実行ボタンの操作について



左に傾けると ◀ ボタンを押す操作になります。
 右に傾けると ▶ ボタンを押す操作になります。
 上に傾けると ▲ ボタンを押す操作になります。
 下に傾けると ▼ ボタンを押す操作になります。



まっすぐな状態で押すと、ENTER ボタンを押す操作になります。

マークの説明



ソースがFM1、FM2、AM、TV1、TV2のときの動作を説明しています。



ソースがMDのときの動作を説明しています。

マーク無しは、共通の動作を説明しています。

()内はこの説明書で使用されている名称です。

1 スキャンボタン(SCAN/G-SCAN ボタン)



押すと記憶された放送局(周波数)を順に呼び出し、5秒ずつ受信します。(27、38ページ)しばらく押すと放送局(周波数)の登録(AUTO MEMORY)を開始します。(26、37ページ)



押すとディスク内の曲(トラック)を順に呼び出し、10秒ずつ再生します。しばらく押すと各グループの先頭の曲(トラック)を順に呼び出し、10秒ずつ再生します。(34ページ)

2 ジョイスティック(▲、▼、◀、▶ ボタン)

機能設定画面およびリスト画面表示中の項目選択に使用します。(20、28、31、39ページ)

3 実行ボタン(ENTER ボタン)

機能設定画面およびリスト画面表示中の決定をおこなうときに使用します。(20、28、31、39ページ)

4 画面切換ボタン(NAVI ボタン)

ナビゲーション画像とソース画面の切換に使用します。

5 ▲、▼ ボタン(▲、▼ ボタン)



記憶された放送局の選択に使用します。(27、38ページ)



グループの選択に使用します。(30ページ)

6 ◀◀、▶▶ ボタン(◀◀、▶▶ ボタン)



押すと周波数(またはチャンネル)が1ステップずつ変化します。しばらく押して離すと受信状況の良い周波数(またはチャンネル)で停止し、受信します。(25、36ページ)



押すと次の曲(トラック)または前の曲(トラック)を呼び出します。しばらく押すと早送りまたは早もどしします。(29ページ)

7 再生/一時停止ボタン



押すとMDの再生を一時停止します。もう一度押すと、再生を始めます(29ページ)

8 機能ボタン(MENU ボタン)

画質調節するときを使用します。(49ページ)しばらく押すと機能設定画面が表示されます。(20ページ)

9 表示ボタン(LIST ボタン)



押すと現在選択しているモードを表示します。しばらく押すと放送局を選択するためのリスト画面を表示します。(28、39ページ)



しばらく押すと曲(トラック)またはグループを選択するためのリスト画面を表示します。(31ページ)

10 入力切換ボタン(SOURCE ボタン)

押すとソースを切換えます。しばらく押すとソースがOFFになり、時計表示になります。もう一度押すとOFFにする前のソースにもどります。(24ページ)

11 音質ボタン(SOUND/LOUD ボタン)

音質調節するときを使用します。(47ページ)しばらく押すとラウドネスのON/OFFを切り換えます。(46ページ)

12 番号ボタン



押すとプリセットされた放送局をダイレクトに呼び出します。(28ページ)しばらく押すと選択している放送局をプリセット登録します。(26ページ)

13 モードボタン(MODE ボタン)



テレビを受信しているときに押すと音声モードを切換えます。(36ページ)



再生モードを切換えます。(32ページ)

14 画面ボタン(ASPECT ボタン)



テレビを受信しているときまたはビデオを見ているときに押すと画面モードを切換えます。(48ページ)

15 交通情報/時計ボタン(TRAF/CLOCK ボタン)

押すと交通情報を受信します。しばらく押すとサブ液晶画面に現在時刻が表示されます。(35ページ)

リモコンについて(つづき)

リモコンの操作方法

リモコンの信号送信部を本体のリモコン受光部に向けて操作してください。本機の操作において一部使用しないボタンがあります。くわしくは、14ページの「リモコンの名称とはたらき」をご覧ください。

リモコンの操作範囲

本体のリモコン受光部(8ページ参照)に向け、正面で約3m以内のところから操作します。リモコンを使用できる距離が短くなってきたら、2本とも新しい乾電池に交換してください。

リモコンの取扱いについて

- リモコンを直接日光の当たるところに長時間放置しないでください。高温により変形や変色したり故障する恐れがあります。リモコンを使用しない場合は、グローブボックスなどの直射日光の当たらないところに保管してください。
- リモコン受光部に直接日光があたるとリモコンの操作ができない場合があります。リモコン受光部に直接日光が当たらない状態で使用してください。
- リモコンを放置しないでください。停車したときやカーブを曲がる時にリモコンが足元に転がり、ブレーキペダルなどの下に入り込むと運転の妨げになり交通事故の原因となります。操作時以外はリモコンホルダーに収めるなどの処置をしてください。
- くわしくは、ナビゲーションシステムの取扱説明書をご覧ください。

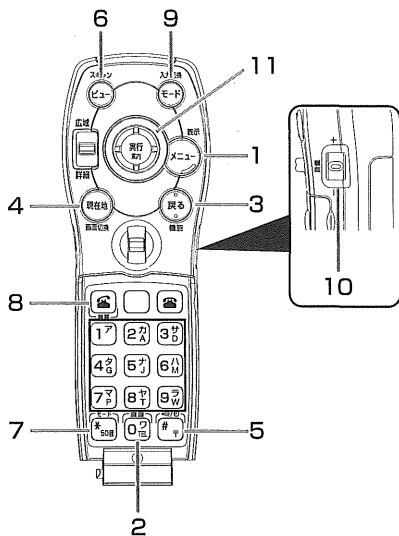
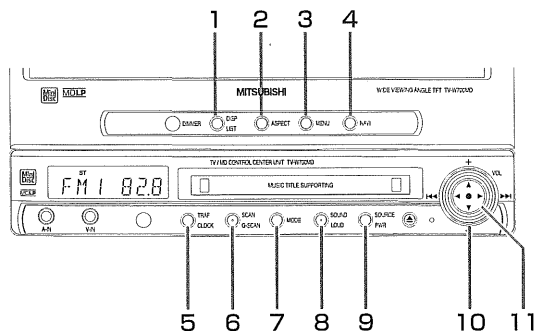
本体とリモコンのボタンの対応について

この取扱説明書では、本体とリモコンに共通するボタンを以下のように表記しています。

本書での表記	本体のボタン	リモコンのボタン
▶/■	なし	一時停止 / 再生ボタン(MD 再生時のみ有効)
▶▶	ジョイスティックの右ボタン	再生・選局右ボタン
◀◀	ジョイスティックの左ボタン	再生・選局左ボタン
▲	ジョイスティックの上ボタン	ジョイスティックの上ボタン(再生・選局上ボタン)
▼	ジョイスティックの下ボタン	ジョイスティックの下ボタン(再生・選局下ボタン)
◀	ジョイスティックの左ボタン	ジョイスティックの左ボタン
▶	ジョイスティックの右ボタン	ジョイスティックの右ボタン
ENTER	ジョイスティックの中央ボタン	ジョイスティックの中央ボタン

この取扱説明書は、本体のボタンを中心に説明しています。リモコンで操作する場合は下記対応表をご覧ください。

	本体のボタン	リモコンのボタン
1	DISP/LIST	表示
2	ASPECT	(フリップ内の)画面
3	MENU	機能
4	NAVI	画面切換
5	TRAF/CLOCK	(フリップ内の)Ⓜ/Ⓢ
6	SCAN/G-SCAN	スキャン
7	MODE	(フリップ内の)モード
8	SOUND/LOUD	(フリップ内の)音質
9	SOURCE	入力切換
10	VOLUME	音量
11	ジョイスティック	ジョイスティック



モニターの立ち上げと調節

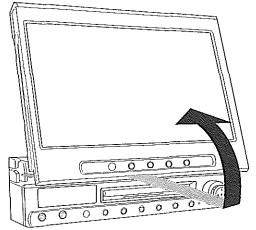
⚠ 注意

モニターの開閉動作中は、指などははさまないように注意してください。

モニターの立ち上げかた

エンジンスイッチをONまたはACCにすると、モニターが自動的に立ち上がります。

- 「オートオープン/クローズ」の設定が「MANUAL」になっている場合は、モニターは自動的に立ち上がりません。その場合は、OPEN/CLOSE ボタンを押してください。
- モニター収納後にエンジンスイッチをOFFにした場合、もういちどエンジンスイッチをONにしても、モニターは自動的に立ち上がりません。その場合は、OPEN/CLOSE ボタンを押してください。



モニターの収納のしかた

エンジンスイッチをOFFにすると、約6秒後にモニターが自動的に収納されます。

- 「オートオープン/クローズ」の設定が「MANUAL」になっている場合は、モニターは自動的に収納されません。その場合は、OPEN/CLOSE ボタンを押してください。

お願い

モニターが完全に収納されたことを確認してください。モニターが途中で止まったときは、そのままの状態しておかないでください。故障の原因になることがあります。

オートオープン/クローズ設定の変更のしかた

1. 機能設定画面を表示させる
 - 機能設定画面の表示方法は20ページをご覧ください。
2. ▲ ボタンまたは ▼ ボタンを押して、モニター設定を選択する
3. ENTER ボタンを押す
 - モニター設定画面が表示されます。

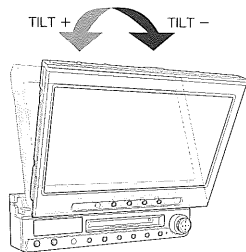
モニター設定			10:10
オートディマー	ON	OFF	
イルミ運動	運動	非運動	
バック運動	運動	非運動	
オートオープン/クローズ	AUTO	MANUAL	
▼			
セットバック	ON	OFF	

4. ▲ ボタンまたは ▼ ボタンを押して、「オートオープン/クローズ」を選択する
5. ◀ ボタンまたは ▶ ボタンを押して、「AUTO」または「MANUAL」を選択する
 - 終了するときは ▼ ボタンを押して、「終了」を選択し、ENTER ボタンを押します。

モニターを調節する

画面を見やすい角度に調節できます。一度調節すれば、次回から同じ角度で立ち上がります。

1. モニターが立ち上がった状態で、モニターのTILT +または-ボタンを押して角度を調節する
 - TILT + ボタンを押すと、画面が上向きになります。
 - TILT - ボタンを押すと、画面が下向きになります。



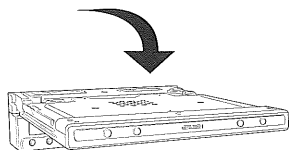
お願い

モニターに強い力を与えないでください。故障の原因になることがあります。

モニターを一時的に手前に倒す

立ち上げたモニターの背後にある車両スイッチなどを操作するために一時的にモニターを手前に倒すことができます。

1. モニターが立ち上がった状態で、モニターのFLAT ボタンを押す
 - モニターが手前に倒れます。
 - 元にもどしたいときは、もう一度モニターのFLAT ボタンを押します。



注意

- モニターを立ち上がった状態にもどすとき、手などがはさまれない様に注意してください。
- 手前に倒した状態で、モニターの上に物を乗せないでください。故障などの原因となることがあります。

モニターを自動的に後ろに下げる

モニターが立ち上がった後、自動的に後ろに下げることができます。自動的に後ろに下げるには、あらかじめ、モニター設定画面の「セットバック」の設定が「ON」になっている必要があります。

1. 機能設定画面を表示させる
 - 機能設定画面の表示方法は20ページをご覧ください。
2. ▲ ボタンまたは ▼ ボタンを押して、モニター設定を選択する
3. ENTER ボタンを押す
 - モニター設定画面が表示されます。

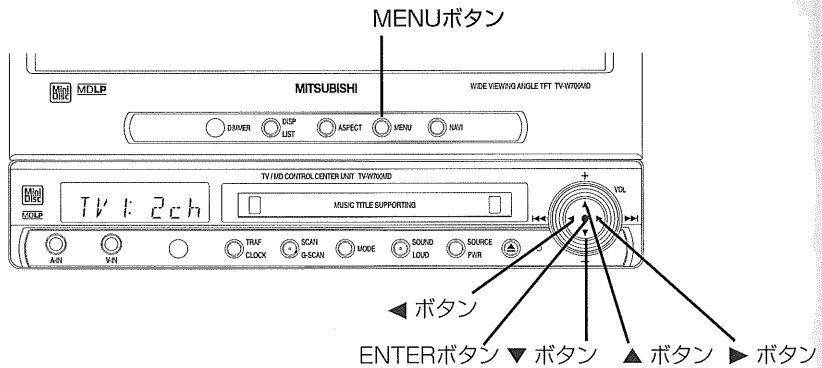
モニター設定		10:10	
オートディマー	ON	OFF	
イルミ運動	運動	非運動	
バック運動	運動	非運動	
オートオープンクローズ	AUTO	MANUAL	
▼ セットバック	ON	OFF	

4. ▲ ボタンまたは ▼ ボタンを押して、「セットバック」を選択する
 5. ◀ ボタンまたは ▶ ボタンを押して、「ON」を選択する
- 終了するときは ▼ ボタンを押して、「終了」を選択し、ENTER ボタンを押します。

注意

- 「セットバック」の設定が「ON」になっているとき、モニターが立ち上がった後、自動的に後ろに下がります。手などがはさまれない様に注意してください。

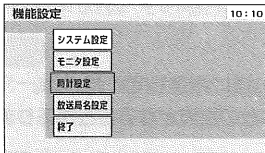
機能設定画面について



機能設定のしかた

1. MENU ボタンをしばらく押す

- 機能設定画面が表示されます。



- 走行中は操作できません。

必ず車を安全な場所に停車し、パーキングブレーキを引いてから操作を行なって下さい。

2. ▲ ボタンまたは ▼ ボタンを押して、設定内容を選択する



- ナビゲーションシステムと接続しているときは、時計設定が選択できません。

3. ENTER ボタンを押す

- 選択した設定画面が表示されます。



4. ▲ ボタンまたは ▼ ボタンを押して、項目を選択する

5. ◀ ボタンまたは ▶ ボタンを押して、設定を変更する

- 終了するときは ▼ ボタンを押して、「終了」を選択し、ENTER ボタンを押します。

(操作後、約 10 秒で元の画面にもどります。)

- MENU ボタンをしばらく押しても、元の画面にもどります。

システム設定画面について

システム設定する

1. 機能設定画面を表示させる
2. ▲ ボタンまたは ▼ ボタンを押して、「システム設定」を選択する
3. ENTER ボタンを押す

- システム設定画面が表示されます。



4. ▲ ボタンまたは ▼ ボタンを押して、項目を選択する
 5. ◀ ボタンまたは ▶ ボタンを押して、設定を変更する
- 終了するときは ▼ ボタンを押して、「終了」を選択し、ENTER ボタンを押します。
(操作後、約 10 秒で元の画面にもどります。)

Video1 外部入力

「ON」を選択すると、VIDEO1 映像(音声)入力端子からの映像(または音声)を選択することができます。

Video2 外部入力

「ON」を選択すると、VIDEO2 映像(音声)入力端子からの映像(または音声)を選択することができます。

AV 情報表示

「ON」を選択すると、NAVI 地図画面を表示しているときに画面上部に現在選択しているソースについての情報(ソース名、受信周波数など)を小窓上に表示します。

NAVI ガイド

「MUTE」を選択すると、誘導音声出力時にソース音声(フロント右側)を消音した状態でフロント右側スピーカーに誘導音声を出力します。

「MIX」を選択すると、ソース音声にミックスされた状態でフロント右側スピーカーに誘導音声を出力します。

操作音

「ON」を選択すると、操作時に操作音(ビープ)を鳴らします。

- ボリューム操作と有効でないボタンを押した場合、操作音は鳴りません。

ボタン照明

「ACC 連動」を選択すると、車両の ACC ON によりボタン照明が点灯します。

「ILL 連動」を選択すると、車両のイルミネーションに連動してボタン照明が点灯します。

モニター設定画面について

モニター設定する

1. 機能設定画面を表示させる
2. ▲ ボタンまたは ▼ ボタンを押して、「モニター設定」を選択する
3. ENTER ボタンを押す

- モニター設定画面が表示されます。

モニター設定		10:10	
オートディマー	ON	OFF	
イルミ連動	連動	非連動	
バック連動	連動	非連動	
オートオープン/クローズ	AUTO	MANUAL	
セットバック	ON	OFF	

4. ▲ ボタンまたは ▼ ボタンを押して、項目を選択する
 5. ◀ ボタンまたは ▶ ボタンを押して、設定を変更する
- 終了するときは ▼ ボタンを押して、「終了」を選択し、ENTER ボタンを押します。
(操作後、約 10 秒で元の画面にもどります。)

オートディマー

「ON」を選択すると、周囲の明るさに応じてディスプレイの明るさを自動的に調節します。

- 「ON」を選択すると、画質調節メニューの明るさ調節は、できなくなります。

イルミ連動

「連動」を選択すると、車両のイルミネーションに連動してディスプレイの明るさを変更します。

- 明るさ調節において、昼間の明るさと夜間の明るさを個別に設定できます。

バック連動

「連動」を選択すると、車両のリバース信号に連動してカメラ入力映像に切り替わります。

オートオープン/クローズ

「AUTO」を選択すると、イグニッションキーをONまたはACCにしたときにモニターを自動的に立ち上げ、イグニッションキーをOFFにしたときにモニターを自動的に収納できます。

「MANUAL」を選択すると、モニターを手動で(OPEN/CLOSE ボタンを押して)立ち上げることができます。

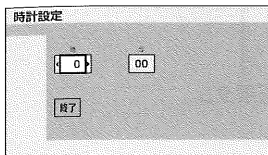
セットバック

「ON」を選択すると、モニターを立ち上げた後、モニターを自動的に後ろに下げることができます。

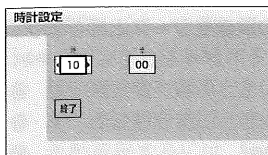
時計を設定する

時計を設定する

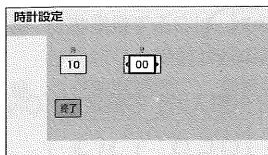
1. 機能設定画面を表示させる
2. ▲ ボタンまたは ▼ ボタンを押して、「時計設定」を選択する
 - ナビゲーションシステムと接続しているときは、時計設定が選択できません。時計情報は自動的にナビゲーションシステムより取り込まれます。
3. ENTER ボタンを押す
 - 時計設定画面が表示されます。



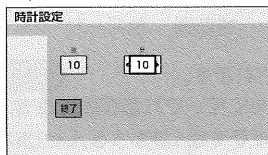
4. ◀ ボタンまたは ▶ ボタンを押して、時を変更する



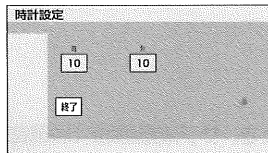
5. ▼ ボタンを押して、「分」を選択する



6. ◀ ボタンまたは ▶ ボタンを押して、分を変更する

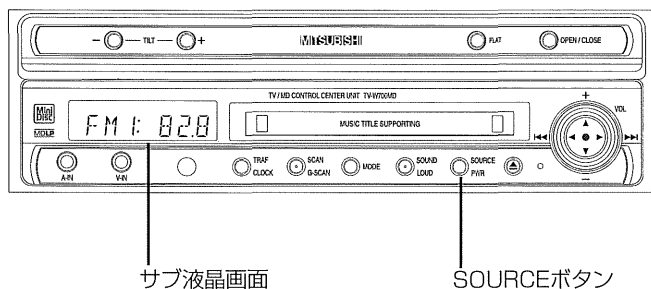


7. ▼ ボタンを押して、「終了」を選択する



8. ENTER ボタンを押す(ENTER ボタンが押されてから、0 秒スタートとなります。)
 - 時計設定画面が消えます。

ソースの切換え

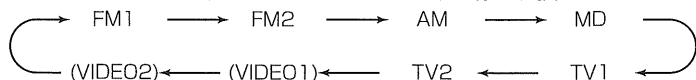


FM、AMなどのラジオ放送やMDなどの音源やテレビ、ビデオなどの映像をソースと呼びます。

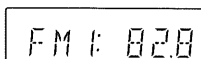
ソースの切換えかた

SOURCE ボタンを押すごとに、ソースが切替わります。

- SOURCE ボタンを押すごとに、ソースは以下の様に切替わります。

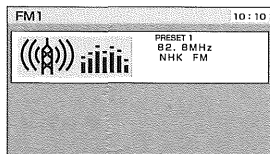


- 「VIDEO1」、「VIDEO2」は「Video1 外部入力」または「Video2 外部入力」の設定が「ON」になっている場合のみ、選択できます。(21 ページ参照)
- サブ液晶画面に、選択したソース名が表示されます。



例) FM1 で 82.8MHz 受信時

- モニターを立ち上げているときは、モニターにソース画面が表示されます。

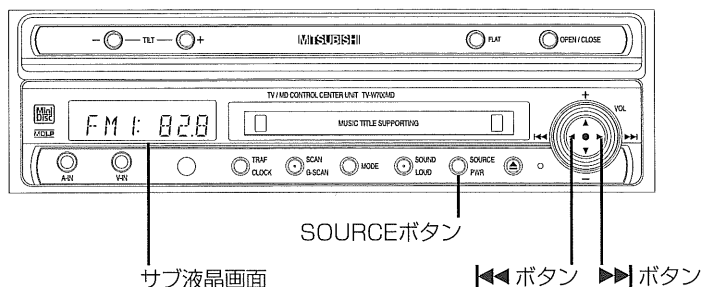


ソースを OFF にする

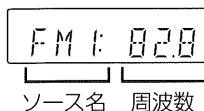
SOURCE ボタンをしばらく押すと、ソースが OFF になります。このとき、サブ液晶画面には現在時刻が表示されます。

- もう一度 SOURCE ボタンを押すと、OFF にする前のソース画面にもどります。

ラジオの聞きかた



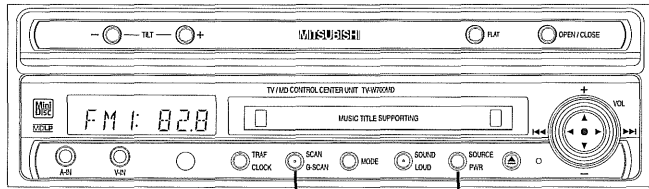
1. SOURCE ボタンを押して、FM1、FM2 または AM を選択する
2. ◀◀ ボタンまたは ▶▶ ボタンを押して選局する
 - 低い周波数を選ぶときは、◀◀ ボタンを押します。
 - 高い周波数を選ぶときは、▶▶ ボタンを押します。
 - 手動選局するには、◀◀ ボタンまたは ▶▶ ボタンを短く押します。1 ステップ(FM の場合 0.1MHz、AM の場合 9kHz)ずつ周波数が変化します。
 - 自動選局するには、◀◀ ボタンまたは ▶▶ ボタンをしばらく押してから手を離します。自動選局が始まり、受信状況の良い周波数のところで停止します。
 - サブ液晶画面に、選択したソース名と周波数が表示されます。



お願い

ラジオの受信時はパワーアンテナが自動的にあがります。アンテナの高さより低い場所(駐車場や洗濯機など)へ入るときは、必ずラジオ以外のソースに切替えるか、SOURCE ボタンをしばらく押してソースを OFF にしてアンテナが下がったことを確認してください。

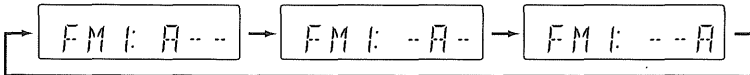
周波数の登録(プリセット登録)のしかた



SCAN/G-SCANボタン

SOURCEボタン

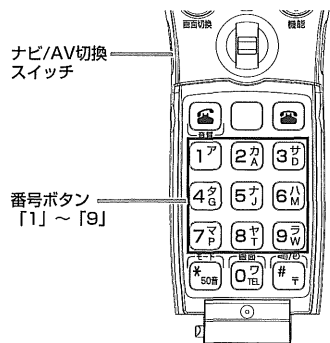
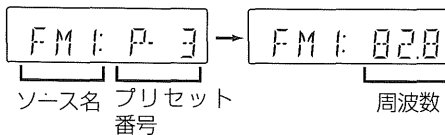
1. SOURCE ボタンを押して、FM1、FM2 または AM を選択する
2. SCAN/G-SCAN ボタンをしばらく押す
 - AUTO MEMORY が実行されます。
 - AUTO MEMORY 中、サブ液晶画面に A の文字が左から右に流れて表示されます。



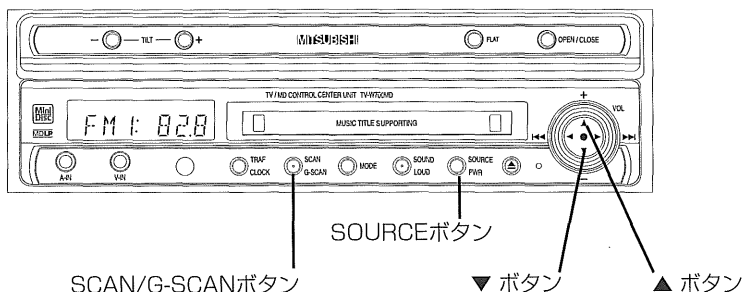
- 受信状況の良い周波数の放送局が低い周波数から順番に登録されます。
- AUTO MEMORY をキャンセルするときは、SOURCE、TRAF/CLOCK、◀◀、▶▶、▲、▼ または SCAN/G-SCAN ボタンなどを押します。キャンセルした場合、プリセットの内容は変更されません。

リモコンでプリセット登録する (リモコン操作時のみ)

1. SOURCE ボタンを押して、FM1、FM2 または AM を選択する
2. 登録する周波数を選択する
3. リモコン左側面のナビ/AV切換スイッチを「AV」側にする
4. 「1」～「9」の登録したいボタンをしばらく押す
 - サブ液晶画面に、選択したソース名とプリセット番号が表示された後、周波数が表示されます。



記憶された周波数の呼び出しかた

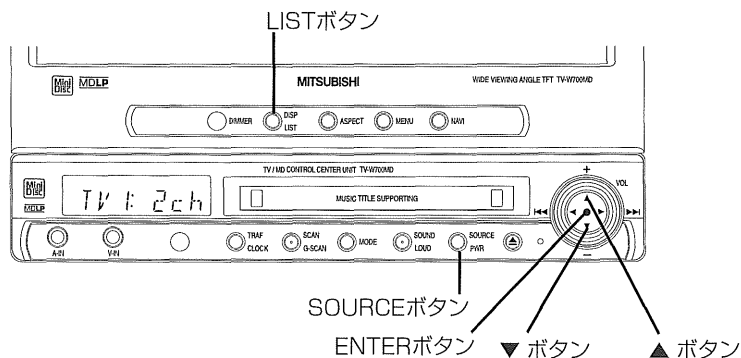


1. SOURCE ボタンを押して、FM1、FM2 または AM を選択する
2. ▲ ボタンまたは ▼ ボタンを押して、プリセットされた周波数を順に呼び出し、選局する
 - 次のプリセットされた周波数を呼び出すときは、▲ ボタンを押します。
 - 前のプリセットされた周波数を呼び出すときは、▼ ボタンを押します。

スキャン機能を使って呼び出す

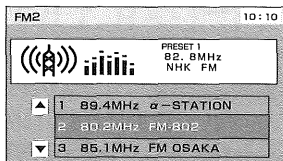
1. SOURCE ボタンを押して、FM1、FM2 または AM を選択する
2. ▲ ボタンまたは ▼ ボタンを押して、プリセットされた放送局を呼び出す
3. SCAN/G-SCAN ボタンを押す
 - スキャンが開始され、次のプリセットされた周波数を5秒間受信した後、繰り返しスキャンを行います。
 - プリセットされた周波数を選択していない場合、プリセット1からスキャンを行います。
4. 受信したい周波数が選局されたら、もう一度 SCAN/G-SCAN ボタンを押す
 - SOURCE、TRAF/CLOCK、◀▶、▲、▼ または SCAN/G-SCAN ボタンなどを押しても、スキャンを終了します。

記憶された周波数の呼び出しかた(つづき)



リスト画面を使って呼び出す

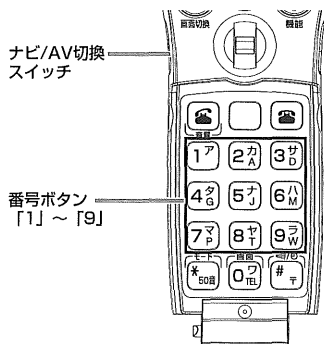
1. SOURCE ボタンを押して、FM1、FM2 または AM を選択する
2. LIST ボタンをしばらく押す
 - モニターにリスト画面が表示されます。



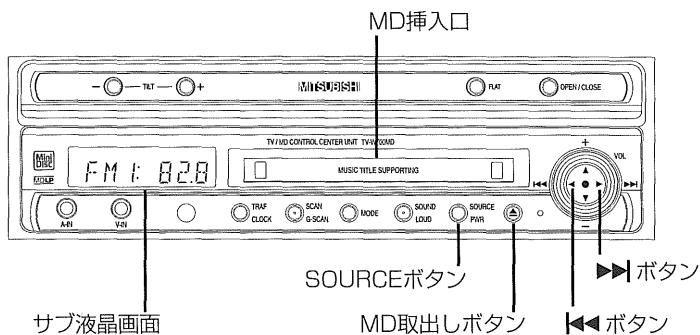
3. ▲ ボタンまたは ▼ ボタンを押して、プリセットされた周波数を選択する
 - 次のプリセットされた周波数を呼び出すときは、▲ ボタンを押します。
 - 前のプリセットされた周波数を呼び出すときは、▼ ボタンを押します。
4. ENTER ボタンを押して、プリセットされた周波数を呼び出し、選局する

リモコンを使ってダイレクトに呼び出す (リモコン操作時のみ)

1. SOURCE ボタンを押して、FM1、FM2 または AM を選択する
2. リモコン左側面のナビ/AV切換スイッチを「AV」側にする
3. 「1」～「9」ボタンを押して、プリセットされた周波数を呼び出し、選局する



MDの聞きかた

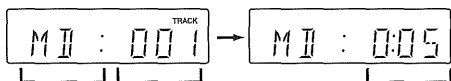
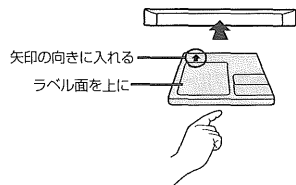


1. MD挿入口にMDディスクが入っていないかを確認するためMD取出しボタンを押す

- MDディスクが入っている状態で無理にMDディスクを挿入すると故障の原因となることがあります。

2. MD挿入口にMDディスクのラベル面を上にし、向きを確認して、MDディスクを挿入する

- MDが最後まで挿入する様に、指で押し込んでください。
- 自動的に再生が始まります。
- MDがすでに挿入されている場合は、SOURCEボタンを押して、MDを選択します。
- サブ液晶画面には次のように表示されます。



ソース名 トラック番号

演奏時間

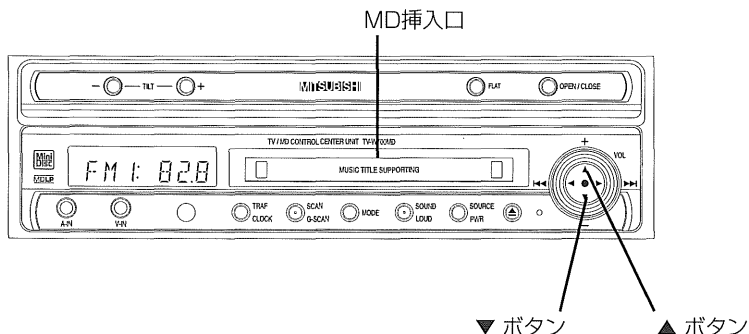
お願い

- MD挿入口にはMD以外の物を入れないでください。故障の原因になることがあります。
3. ◀◀ボタンまたは▶▶ボタンを押して聴きたい曲を選ぶ
 - 前の曲を選ぶときは、◀◀ボタンを押します。
 - 次の曲を選ぶときは、▶▶ボタンを押します。
 - 早もどしするときは、◀◀ボタンをしばらく押しつづけます。
 - 早送りするときは、▶▶ボタンをしばらく押しつづけます。

MD再生を終了する

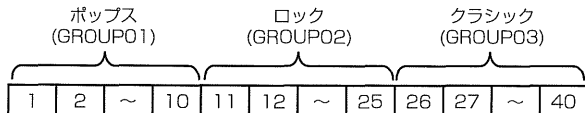
1. MD取出しボタンを押して、MDを取り出す
 - MDを挿入したまま、他のソースに切替えたり、ソースをOFFにすることもできます。
 - リモコンの再生/停止ボタンを押すと、再生を一時的に停止する事が出来ます。もう一度再生/停止ボタンを押すと再生が始まります。

MDの聞きかた(つづき)



グループ機能について

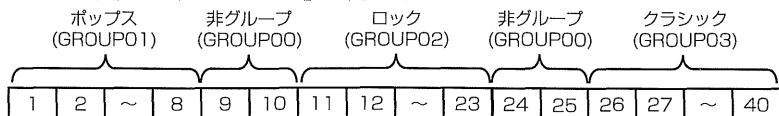
本機はグループ設定されているMDを再生できます。MDLPモードなどで録音して曲数が増えてしまったときに、MDレコーダでアーティストやジャンルごとにグループ分けすることにより、選曲が簡単になります。例えば、ジャンルごとにグループ分けしたMDの場合(MD内に3グループ、40曲ある場合)



トラック

※ジャンルごとに選択ができるので曲選びに便利です。

- 本機はMD再生のみご利用になれます。グループ設定については、ご使用されるMDレコーダの取扱説明書をご覧ください。
- グループ設定されていない(非グループ)トラックが設定されているMDの場合、非グループトラックは自動的に「GROUP00」に割り当てられます。

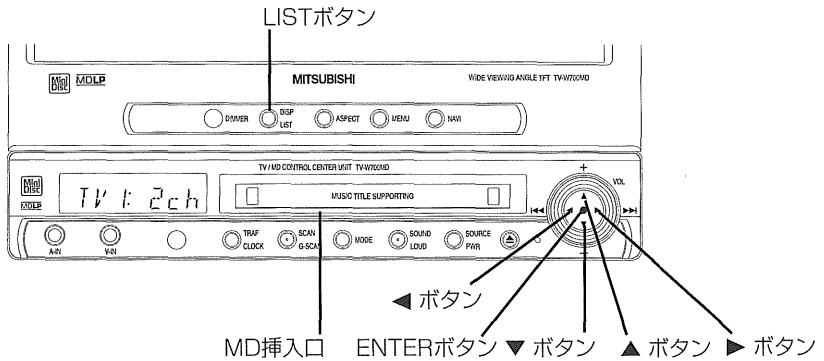


トラック

※非グループトラックは自動的に作成されるGROUP00に割り当てられます。

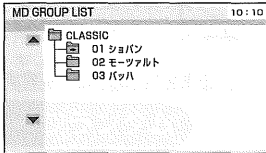
グループ設定されたMDの再生のしかた

1. MD挿入口にグループ設定されたMDディスクを挿入する
2. ▲ ボタンまたは ▼ ボタンを押して聞きたい曲が入っているグループを選ぶ
 - 前のグループを選ぶときは、▼ ボタンを押します。
 - 次のグループを選ぶときは、▲ ボタンを押します。

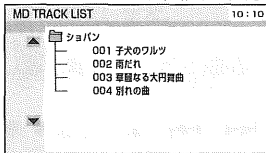


リスト画面を使って選曲する

1. MD 挿入口に MD ディスクを挿入する
2. LIST ボタンをしばらく押す
- グループリスト画面が表示されます。

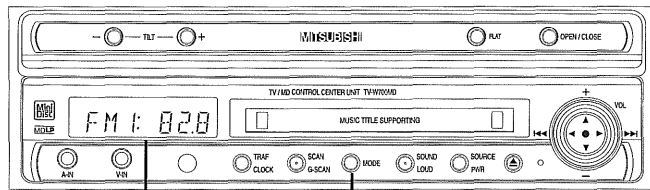


- グループ設定されていないMDディスクの場合、グループリスト画面は表示されません。操作5に進んでください。
3. ▲ ボタンまたは ▼ ボタンを押して、グループを選択する
 4. ▶ ボタンを押す
 - トラックリスト画面が表示されます。



5. ▲ ボタンまたは ▼ ボタンを押して、曲(トラック)を選択する
6. ENTER ボタンを押す
- 選択した曲(トラック)の再生を開始します。
- グループ設定されているMDディスクの場合、◀ ボタンを押すと、グループリスト画面にもどります。
- もう一度 LIST ボタンをしばらく押すと、リスト画面から通常画面にもどります。

MDのいろいろな再生



サブ液晶画面

MODEボタン

再生モードの選択

1. MODE ボタンを押すごとに、再生モードが切替わります。
- MODE ボタンを押すごとに、再生モードは以下の様に切替わります。

通常再生 → トラックリピート → (グループリピート) → ディスクランダム → (グループランダム) → 通常再生
- 「グループリピート」、「グループランダム」はグループ設定されているMDの場合のみ選択できません。

トラックリピート

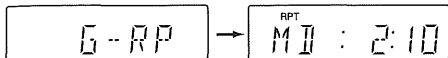
1. トラックリピートをおこないたいトラックを再生中、MODEボタンを押してトラックリピートモードに切替える
 - サブ液晶画面に「T-RP」を点灯させます。(モニター上には、「T-REPEAT」が表示されます。)

T-RP → RPT MD : 2:10

 - トラックリピートモードになり、解除されるまで、再生している曲(トラック)を繰り返し再生します。
 - MODEボタン、SCAN/G-SCANボタン、MD取出しボタン、◀◀、▶▶、▲ または ▼ ボタンを押すとトラックリピートモードが解除されます。

グループリピート

1. グループリピートをおこないたいグループを再生中、MODEボタンを押してグループリピートモードに切り換える
 - サブ液晶画面に「G-RP」を点灯させます。(モニター上には、「G-REPEAT」が表示されます。)



- グループリピートモードになり、解除されるまで、再生しているグループ内の曲(トラック)を繰り返し再生します。
- MODE ボタン、SCAN/G-SCAN ボタンまたは MD 取出しボタンを押すとグループリピートモードが解除されます。

ディスクランダム

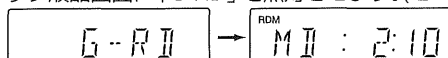
1. MODE ボタンを押してディスクランダムモードに切り換える
 - サブ液晶画面に「D-RD」を点灯させます。(モニター上には、「RANDOM」が表示されます。)



- ディスクランダムモードになり、解除されるまでディスク全体からランダムに曲(トラック)を選択し再生します。
- MODE ボタン、SCAN/G-SCAN ボタンまたは MD 取出しボタンを押すとディスクランダムモードが解除されます。

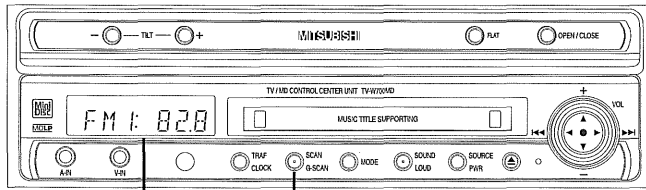
グループランダム

1. MODE ボタンを押してグループランダムモードに切り換える
 - サブ液晶画面に「G-RD」を点灯させます。(モニター上には、「G-RANDOM」が表示されます。)



- グループランダムモードになり、解除されるまでグループ内でランダムに曲(トラック)を選択し再生します。
- MODE ボタン、SCAN/G-SCAN ボタンまたは MD 取出しボタンを押すとグループランダムモードが解除されます。

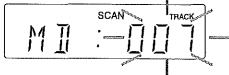
MD のいろいろな再生(つづき)



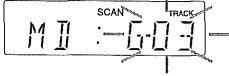
サブ液晶画面

SCAN/G-SCANボタン

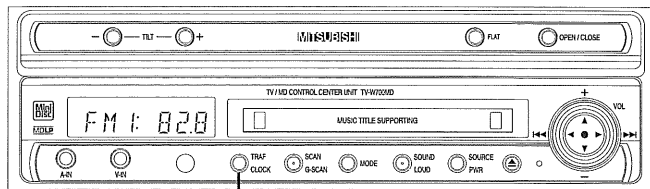
ディスクスキャン

- MD 再生時、SCAN/G-SCAN ボタンを押す
 - 再生中の次の曲(トラック)からスキャンを開始し、ディスク内の曲(トラック)を10秒ずつ再生します。
 - スキャン中はサブ液晶画面の再生中のトラック NO. が点滅します。
- 
- 聞きたい曲(トラック)が選曲されたら、もう一度 SCAN/G-SCAN ボタンを押す
 - MODE、◀◀、▶▶、ボタンのいずれかを押ししたり、ACC OFFの操作をおこなっても、スキャンを終了します。

グループスキャン

- MD 再生時、SCAN/G-SCAN ボタンをしばらく押す
 - 再生中の次のグループからスキャンを開始し、グループごとの先頭の曲(トラック)を順に呼び出し、10秒ずつ再生します。
 - スキャン中はサブ液晶画面のSCAN が点灯し再生中のグループ NO. が点滅します。
- 
- 聞きたいグループが選曲されたら、もう一度 SCAN/G-SCAN ボタンを押す
 - MODE、◀◀、▶▶ ボタンのいずれかを押ししたり、ACC OFFの操作をおこなっても、スキャンを終了します。
 - GROUP00 に割り当てられた曲(トラック)は、スキャンの対象となりません。

交通情報を聞く／時刻を表示する



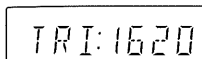
TRAF/CLOCKボタン

交通情報を聞く

交通情報は、どのソースが選ばれていても、またソースがOFFでもダイレクトに受信できます。

1. TRAF/CLOCK ボタンを押す

- 1620kHz、1629kHzのどちらか受信できる方を自動受信します。
- サブ液晶画面に、「TRI」と周波数が表示されます。



周波数

- どちらも受信できない場合や受信状態が悪化した場合は、元のソースにもどります。

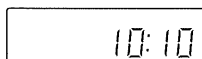
2. 受信を中止するには、もう一度 TRAF/CLOCK ボタンを押すか、SOURCE ボタンを押す

- 交通情報を受信する前のソースにもどります。

サブ液晶画面に時刻を表示する

1. TRAF/CLOCK ボタンをしばらく押す

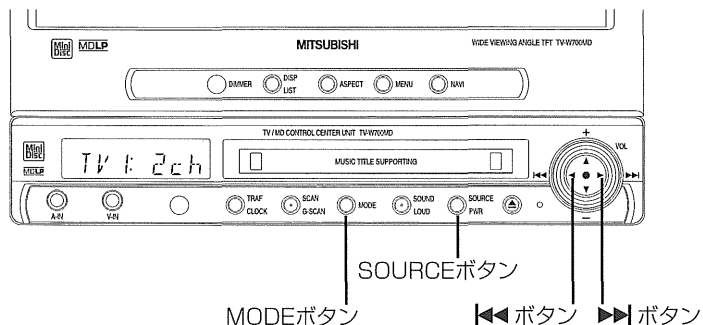
- サブ液晶画面が時刻表示になります。



時刻表示

- もう一度 TRAF/CLOCK ボタンを押すと、受信周波数などの表示になります。

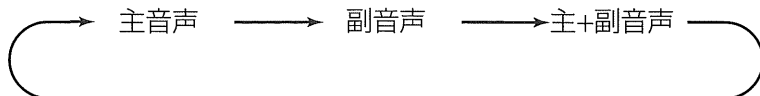
テレビの見かた



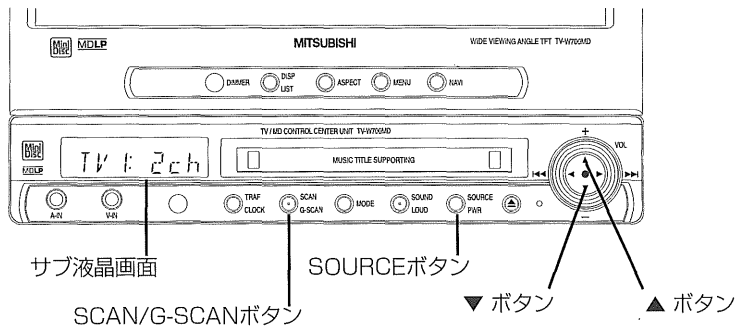
1. SOURCE ボタンを押して、TV1 または TV2 を選択する
2. <<< ボタンまたは >>> ボタンを押して選局する
 - 前のチャンネルを選ぶときは、<<< ボタンを押します。
 - 次のチャンネルを選ぶときは、>>> ボタンを押します。
 - 手動選局するには、<<< ボタンまたは >>> ボタンを短く押します。1チャンネルずつ変化します。
 - 自動選局するには、<<< ボタンまたは >>> ボタンをしばらく押してから手を離します。自動選局が始まります。
 - NAVI 地図画面でTV1 または TV2 を選択すると、音声のみが切り替わります。
 - 走行中は、テレビの映像を見ることはできません。(チャンネル選局、音声を聞くことはできません。)

音声多重チャンネルの音声を切り換える

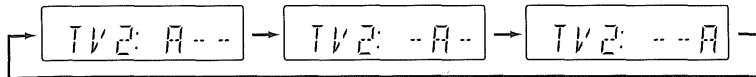
1. TV 受信中に MODE ボタンを押して音声モードを選択する
 - MODE ボタンを押すごとに、音声モードは以下の様に切り替わります。



放送局の登録(プリセット登録)のしかた



1. SOURCE ボタンを押して、TV1 または TV2 を選択する
2. SCAN/G-SCAN ボタンをしばらく押す
 - AUTO MEMORY が実行されます。
 - AUTO MEMORY 中、サブ液晶画面に A の文字が左から右に流れて表示されます。

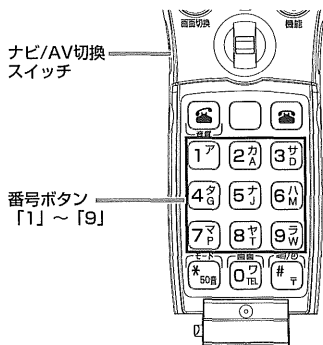
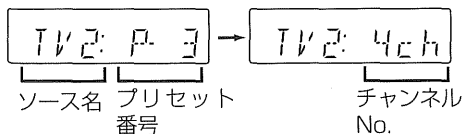


- 受信状況の良い周波数の放送局が低い周波数から順番に登録されます。
- AUTO MEMORY をキャンセルするときは、SOURCE、TRAF/CLOCK、◀◀、▶▶、▲、▼ ボタンまたは SCAN/G-SCAN ボタンなどを押します。キャンセルした場合、プリセットの内容は変更されません。

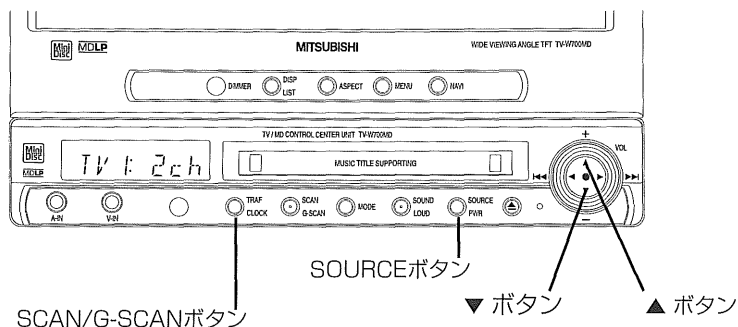
操作方法 (テレビ編)

リモコンでプリセット登録する (リモコン操作時のみ)

1. SOURCE ボタンを押して、TV1 または TV2 を選択する
2. 登録する放送局を選択する
3. リモコン左側面のナビ/AV切換スイッチを「AV」側にする
4. 「1」～「9」の登録したいボタンをしばらく押す
 - サブ液晶画面に、選択したソース名とプリセット番号が表示された後、チャンネルNo.が表示されます。



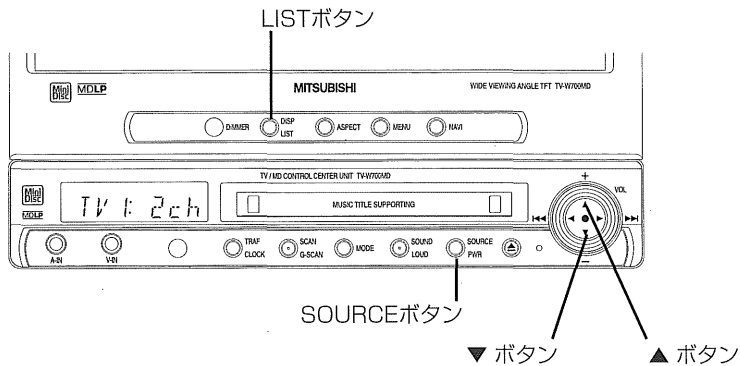
記憶された放送局の呼び出しかた



1. SOURCE ボタンを押して、TV1 または TV2 を選択する
2. ▲ ボタンまたは ▼ ボタンを押して、プリセットされた放送局を順に呼び出し、選局する
 - 次のプリセットされた放送局を呼び出すときは、▲ ボタンを押します。
 - 前のプリセットされた放送局を呼び出すときは、▼ ボタンを押します。

スキャン機能を使って呼び出す

1. SOURCE ボタンを押して、TV1 または TV2 を選択する
2. ▲ ボタンまたは ▼ ボタンを押して、プリセットされた放送局を呼び出す
3. SCAN/G-SCAN ボタンを押す
 - スキャンが開始され、次(高い周波数)のプリセットされた放送局を5秒間受信し、繰り返しスキャンを行います。
 - プリセットされた放送局を選択していない場合、プリセット1からスキャンを行います。
4. 受信したい放送局が選局されたら、もう一度 SCAN ボタンを押す
 - SOURCE、TRAF/CLOCK、◀▶、▼、▲ または SCAN/G-SCAN ボタンのいずれかを押しても、スキャンを終了します。



リスト画面を使って呼び出す

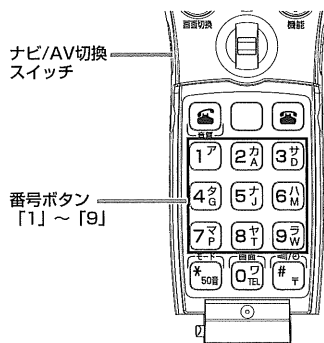
1. SOURCE ボタンを押して、TV1 または TV2 を選択する
2. LIST ボタンをしばらく押す
 - モニターにリスト画面が表示されます。



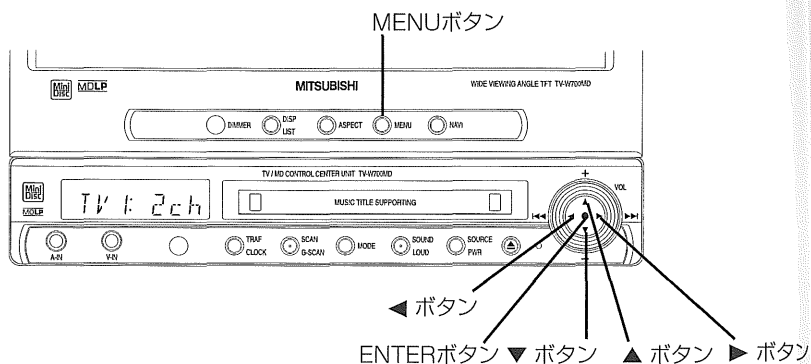
3. ▲ ボタンまたは ▼ ボタンを押して、プリセットされた放送局を選択する
 - 次のプリセットされた放送局を呼び出すときは、▼ ボタンを押します。
 - 前のプリセットされた放送局を呼び出すときは、▲ ボタンを押します。
4. ENTER ボタンを押して、プリセットされた放送局を呼び出し、選局する。

リモコンを使ってダイレクトに呼び出す (リモコン操作時のみ)

1. SOURCE ボタンを押して、TV1 または TV2 を選択する
2. リモコン左側面のナビ/AV切換スイッチを「AV」側にする
3. 「1」～「9」ボタンを押して、プリセットされた放送局を呼び出し、選局する

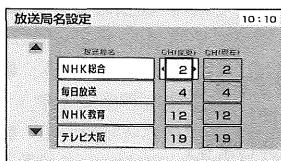


放送局名称の変更



放送局名称(受信チャンネル)の変更のしかた

- 機能設定画面を表示させる
 - 機能設定画面の表示方法は 20 ページをご覧ください。
- ▲ ボタンまたは ▼ ボタンを押して、放送局名設定を選択する
 - ナビゲーションシステムと接続していないときは、放送局名設定が選択できません。
- ENTER ボタンを押す
 - 放送局名設定画面が表示されます。

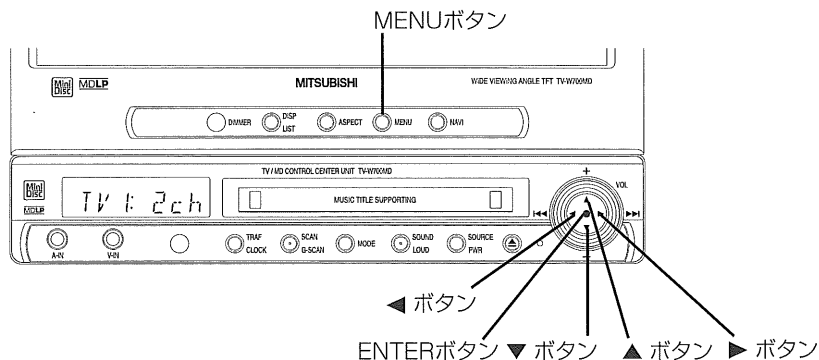


- ▲ ボタンまたは ▼ ボタンを押して、受信チャンネルを変更する放送局名を選択する
- ◀ ボタンまたは ▶ ボタンを押して、CH(変更)のチャンネルを変更する



- ENTER ボタンを押す
 - CH(現在)のチャンネルが変更されます。
 - 終了するときには ▼ ボタンを押して、「終了」を選択し、ENTER ボタンを押します。

ビデオの見かた



前面あるいは後面の映像端子(および音声端子)にビデオを接続しておくと同機のモニターでビデオの映像を見ることができます。接続についてくわしくは別冊の取付要領書をご覧ください。

- 映像端子からの映像を見るには、あらかじめ、機能設定画面の「Video1 外部入力」または「Video2 外部入力」の設定が「ON」になっている必要があります。

Video 外部入力設定の変更のしかた

- 機能設定画面を表示させる
 - 機能設定画面の表示方法は20ページをご覧ください。
- ▲ ボタンまたは ▼ ボタンを押して、システム設定を選択する
- ENTER ボタンを押す
 - システム設定画面が表示されます。

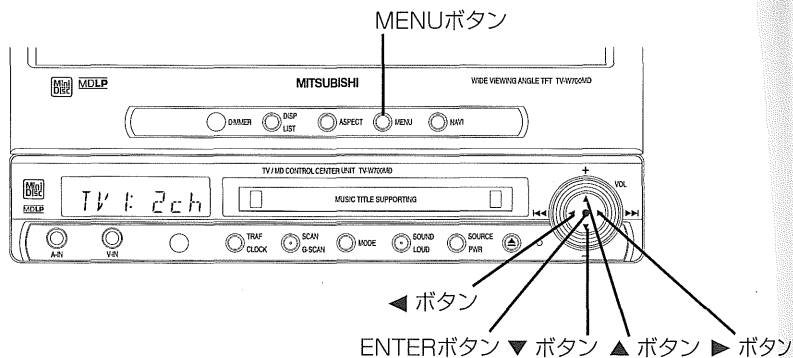
システム設定		
Video1 外部入力	ON	OFF
Video2 外部入力	ON	OFF
AV情報表示	ON	OFF
NAVIガイド	MUTE	MIX
操作音	ON	OFF

- ▲ ボタンまたは ▼ ボタンを押して、Video1 外部入力または Video2 外部入力を選択する
- ◀ ボタンまたは ▶ ボタンを押して、ON を選択する
 - 終了するときは ▼ ボタンを押して、「終了」を選択し、ENTER ボタンを押します。

ビデオ映像の見かた

- SOURCE ボタンを押して、VIDEO1 または VIDEO2 を選択する
 - 後面の映像端子(12ページ)に接続されたビデオ映像を見るときは、VIDEO1 を選択します。
 - 前面の映像端子(8ページ)に接続されたビデオ映像を見るときは、VIDEO2 を選択します。
- NAVI 地図画面で「VIDEO1」または「VIDEO2」を選択すると、音声のみが切り替わります。
- 走行中はビデオの映像を見ることはできません

カメラ映像の見かた



カメラ映像入力端子にバックカメラを接続しておく、シフトレバーをR(リバース)にしたときに自動的にバックカメラの映像に切り換えることができます。

- R(リバース)にしたときに自動的にバックカメラの映像に切り換えるには、あらかじめ、モニター設定画面の「バック連動」の設定が「連動」になっている必要があります。

バック連動設定の変更のしかた

- 機能設定画面を表示させる
 - 機能設定画面の表示方法は20ページをご覧ください。
- ▲ ボタンまたは ▼ ボタンを押して、モニター設定を選択する
- ENTER ボタンを押す
 - モニター設定画面が表示されます。

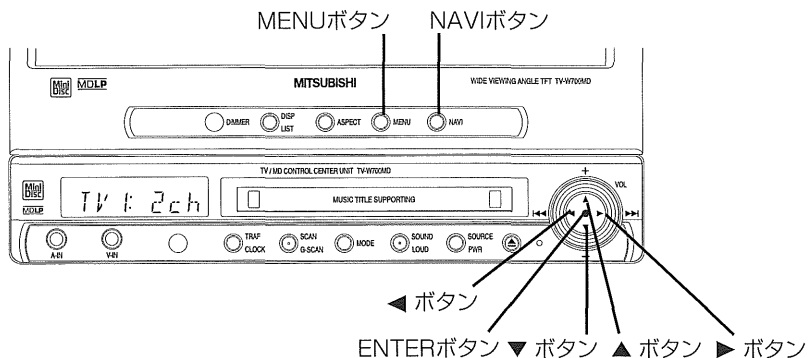
モニター設定		10:10	
オートディマー	O N	OFF	
イルミ連動	連動	非連動	
バック連動	連動	非連動	
オートオープン/クローズ	AUTO	MANUAL	
セットバック	O N	OFF	

- ▲ ボタンまたは ▼ ボタンを押して、「バック連動」を選択する
 - ◀ ボタンまたは ▶ ボタンを押して、「連動」を選択する
- 終了するときは ▼ ボタンを押して、「終了」を選択し、ENTER ボタンを押します。

バックカメラ映像の見かた

- シフトレバーをR(リバース)にする
 - モニターの映像が自動的にバックカメラの映像に切り換わります。

ナビゲーションを見るには



くわしくは、ナビゲーションシステム取扱説明書をご覧ください。

ナビゲーションを表示する

1. NAVI ボタンを押す

- ナビゲーション画面が表示されます。もう一度押すとソース表示にもどります。
- リモコンのNAVI/AV切換スイッチをナビ側にし、「電源」ボタンを押してもナビゲーション画面が表示されます。

NAVI地図画面上に現在選択中のソース状態を表示させることができます。表示させるには、システム設定画面の「AV 情報表示」の設定を「ON」にします。

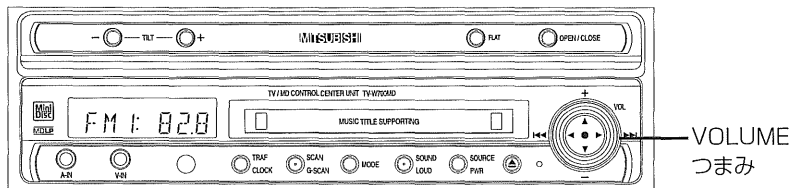
1. 機能設定画面を表示させる

- 機能設定画面の表示方法は20ページをご覧ください。
2. ▲ ボタンまたは ▼ ボタンを押して、システム設定を選択する
 3. ENTER ボタンを押す
 - システム設定画面が表示されます。

システム設定		
Video1外部入力	ON	OFF
Video2外部入力	ON	OFF
AV情報表示	ON	OFF
NAVIガイド	MUTE	MIX
操作音	ON	OFF

4. ▲ ボタンまたは ▼ ボタンを押して、「AV 情報表示」を選択する
5. ◀ ボタンまたは ▶ ボタンを押して、「ON」を選択する
 - 終了するときは ▼ ボタンを押して、「終了」を選択し、ENTER ボタンを押します。

音声調節について



音量を調節する

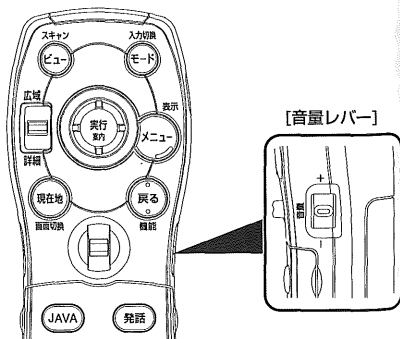
1. VOLUMEつまみを回して、音量を調節する
 - 音量レベルが00～32の範囲で調節できます。
 - 音量を大きくするときは、VOLUMEつまみを時計回りに回します。
 - 音量を小さくするときは、VOLUMEつまみを反時計回りに回します。

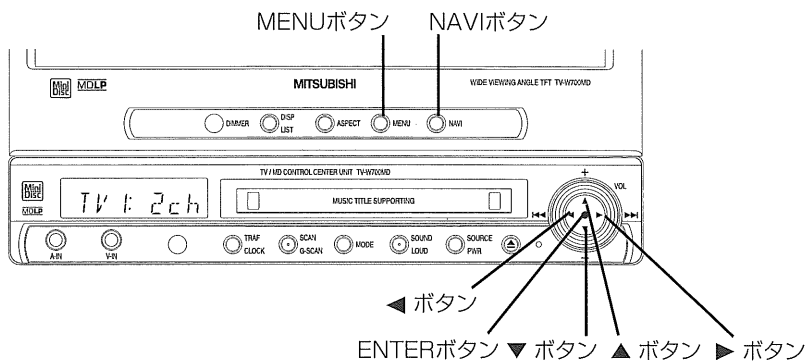
リモコンで音量を調節する

1. 側面のナビ/AV切換スイッチをAV側する
2. 音量レバーを傾けて、音量を調節する
 - 音量を大きくするときは、上(+)側に傾けます。
 - 音量を小さくするときは、下(-)側に傾けます。

お願い

ナビゲーションシステムを接続されてご使用になる場合、ナビゲーション本体よりの誘導案内音声は、本機では音量調節できません。ナビゲーションシステムの取扱説明書に従って、調節してください。





システム設定画面の「NAVIガイド」の設定を「MUTE」にしておくと、ナビゲーションの誘導音声出力中、ソースの音がミュートされます。(フロント右側スピーカーのみ)

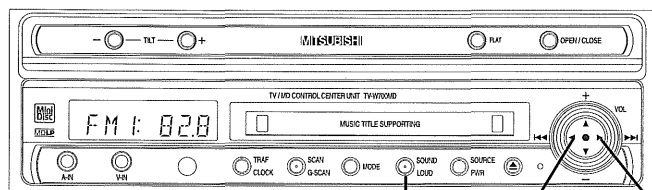
NAVIガイド設定の変更のしかた

1. 機能設定画面を表示させる
 - 機能設定画面の表示方法は20ページをご覧ください。
2. ▲ボタンまたは▼ボタンを押して、システム設定を選択する
3. ENTERボタンを押す
 - システム設定画面が表示されます。

システム設定		10:10
Video1外部入力	<input type="radio"/> ON	<input type="radio"/> OFF
Video2外部入力	<input type="radio"/> ON	<input type="radio"/> OFF
AV情報表示	<input type="radio"/> ON	<input type="radio"/> OFF
NAVIガイド	<input type="radio"/> MUTE	<input type="radio"/> MIX
操作音	<input type="radio"/> ON	<input type="radio"/> OFF

4. ▲ボタンまたは▼ボタンを押して、「NAVIガイド」を選択する
5. ◀ボタンまたは▶ボタンを押して、「MUTE」または「MIX」を選択する
 - 「MUTE」を選択すると、ナビゲーションの誘導音声出力中は、ソースの音がミュートされます。
 - 「MIX」を選択すると、ナビゲーションの誘導音声出力中は、ソースの音が混ざって聞こえます。
- 終了するときは▼ボタンを押して、「終了」を選択し、ENTERボタンを押します。

音声調節について(つづき)



SOUND/LOUDボタン

◀ ボタン

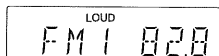
▶ ボタン

音にメリハリをつける(ラウドネス)

小さな音量で聞いているときに、低音を強調して迫力のある音にすることができます。

1. SOUND/LOUD ボタンをしばらく押す

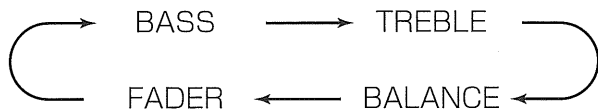
- ラウドネス機能が「ON」になります。
- サブ液晶画面に、「LOUD」が表示されます。



- ラウドネス機能を「OFF」にするには、もう一度SOUND/LOUD ボタンをしばらく押します。

音質を調節する

1. SOUND/LOUD ボタンを短く押して、調節する項目を選択する
 - SOUND/LOUD ボタンを押すごとに、調節する項目は以下の様に切替わります。



2. ◀ ボタンまたは ▶ ボタンを押して、調節する

- しばらく操作しないと、調節を終了します。
- リセットした場合、調節値は初期値にもどります。

BASS 調節 (-7~+7)

低音を強調します。

- 低音を強調させたいときは、▶ ボタンを押します。
- 低音を強調させたくないときは、◀ ボタンを押します。

TREBLE 調節 (-7~+7)

高音を強調します。

- 高音を強調させたいときは、▶ ボタンを押します。
- 高音を強調させたくないときは、◀ ボタンを押します。

BALANCE 調節 (L9~0~R9)

RIGHT/LEFT の音量の調節をします。

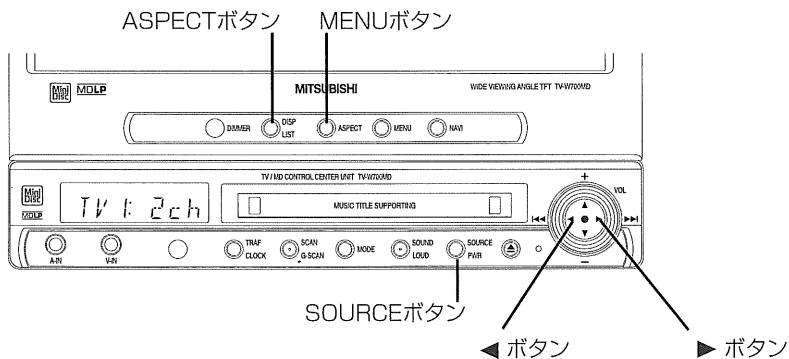
- LEFT の音量に比べて RIGHT の音量を上げたいときは、▶ ボタンを押します。
- LEFT の音量に比べて RIGHT の音量を下げたいときは、◀ ボタンを押します。

FADER 調節 (R9~0~F9)

FRONT/REAR の音量の調節をします。

- REAR の音量に比べて FRONT の音量を上げたいときは、▶ ボタンを押します。
- REAR の音量に比べて FRONT の音量を下げたいときは、◀ ボタンを押します。

映像調節について

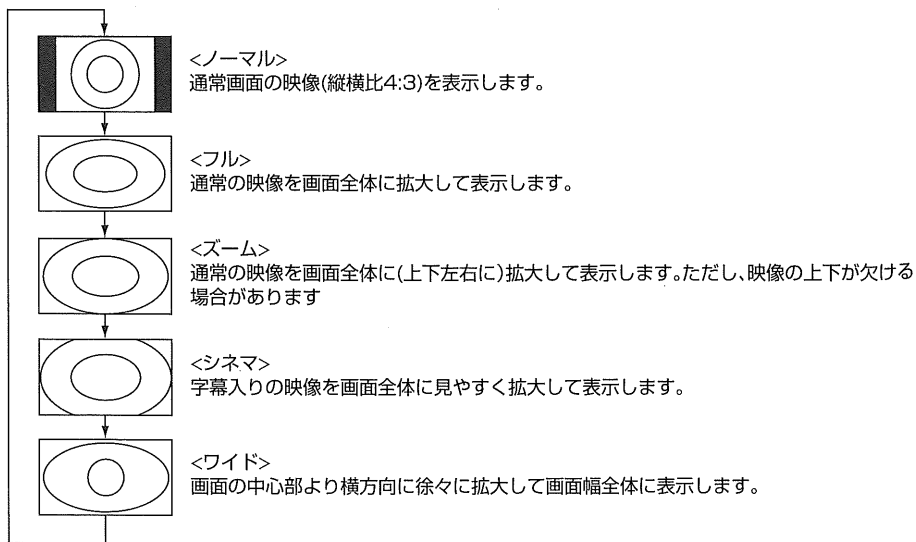


画面モードを切替える

本機は5種類の画面モードを用意しています。映像の内容により画面モードを適宜切替えてご使用ください。

1. SOURCE ボタンを押して、TV1、TV2、VIDEO1 または VIDEO2 を選択する
2. ASPECT ボタンを押して、画面モードを選択する

- ASPECT ボタンを押すごとに、画面モードは以下の様に切替わります。

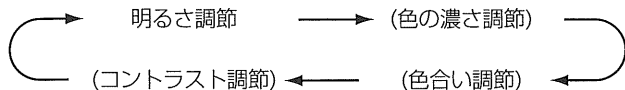


- テレビ番組などソフトの映像比率の異なるモードを選択しますと、オリジナルの映像と違った見え方になります。この点に留意して画面モードを選択してください。
- 本機を営利目的または公衆に視聴させることを目的として使用する場合、画面モードの切替え機能により画面の圧縮、引き延ばしなどをおこないますと著作権上で保護されている著作権者の権利を侵害する恐れがありますのでご注意ください。

画質を調節する

1. MENU ボタンを押して調節する項目を選択する

- MENU ボタンを押すごとに、調節する項目は以下の様に切り替わります。



- ()の調節項目は、TV1、TV2、VIDEO1、VIDEO2、DVD再生時以外、および走行中は調節できません。
- ### 2. ◀ ボタンまたは ▶ ボタンを押して、調節する
- しばらく操作しないと、調節を終了します。

明るさ調節 (-30 ~ 0)

画面の明るさを調節します。

- 画面を明るくさせたいときは、▶ ボタンを押します。
- 画面を暗くさせたいときは、◀ ボタンを押します。
- 「オートディマー」の設定が「ON」のときは、明るさ調節はおこなえません。

色の濃さ調節 (-15 ~ +15)

画面の色の濃さを調節します。

- 画面の色を濃くさせたいときは、▶ ボタンを押します。
- 画面の色を淡くさせたいときは、◀ ボタンを押します。

色合い調節 (G15 ~ 0 ~ R15)

画面の色合いを調節します。

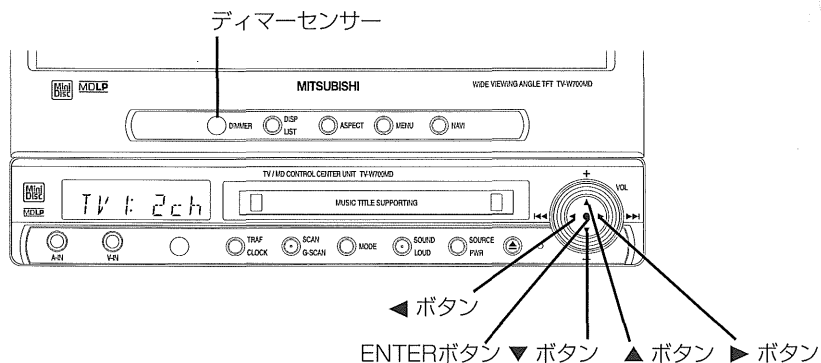
- 画面を赤味がかかった色にさせたいときは、▶ ボタンを押します。
- 画面を緑がかかった色にさせたいときは、◀ ボタンを押します。

コントラスト調節 (-15 ~ +15)

画面のメリハリを調節します。

- 画面のメリハリを強くさせたいときは、▶ ボタンを押します。
- 画面のメリハリを抑えたいときは、◀ ボタンを押します。

映像調節について(つづき)



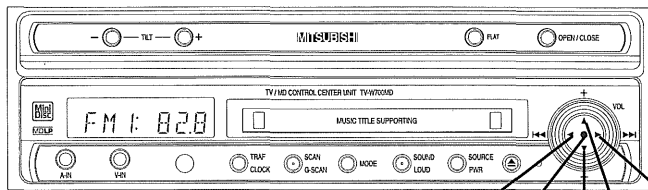
モニター設定画面の「オートディマー」の設定を「ON」にしておくと、周囲の明るさに応じて画面の明るさを自動的に調節します。

オートディマー設定の変更のしかた

- 機能設定画面を表示させる
 - 機能設定画面の表示方法は 20 ページをご覧ください。
- ▲ ボタンまたは ▼ ボタンを押して、モニター設定を選択する
- ENTER ボタンを押す
 - モニター設定画面が表示されます。

モニター設定		10:10	
オートディマー	ON	OFF	
イルミ連動	連動	非連動	
バック連動	連動	非連動	
オートオープン/クローズ	AUTO	MANUAL	
▼ セットバック	ON	OFF	

- ▲ ボタンまたは ▼ ボタンを押して、「オートディマー」を選択する
- ◀ ボタンまたは ► ボタンを押して、「ON」を選択する
 - 終了するときは ▼ ボタンを押して、「終了」を選択し、ENTER ボタンを押します。
 - ディマーセンサーをふさがらないでください。
 - 「オートディマー」の設定が「ON」のときは、明るさ調節は行えません。
 - 「イルミ連動」の設定が「連動」になっているときに「オートディマー」の設定を「ON」にすると、「イルミ連動」の設定は自動的に「非連動」になります。



ENTERボタン ▼ボタン ▲ボタン ▶ボタン

モニター設定画面の「イルミ連動」の設定を「連動」にしておくと、車両のイルミネーションに応じて画面の明るさを自動的に調節します。

イルミ連動設定の変更のしかた

1. 機能設定画面を表示させる
 - 機能設定画面の表示方法は20ページをご覧ください。
2. ▲ボタンまたは▼ボタンを押して、モニター設定を選択する
3. ENTERボタンを押す
 - モニター設定画面が表示されます。

モニター設定		10:10
オートディマー	ON	OFF
イルミ連動	連動	非連動
バック連動	連動	非連動
オートオープン/クローズ	AUTO	MANUAL
セットバック	ON	OFF

4. ▲ボタンまたは▼ボタンを押して、「イルミ連動」を選択する
5. ◀ボタンまたは▶ボタンを押して、「連動」を選択する
 - 終了するときは▼ボタンを押して、「終了」を選択し、ENTERボタンを押します。
 - 「オートディマー」の設定が「ON」になっているときに「イルミ連動」の設定を「連動」にすると、「オートディマー」の設定は自動的に「OFF」になります。

故障かなと思ったら

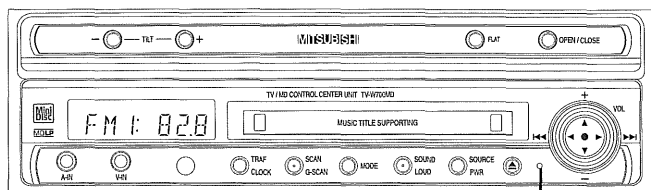
症状		原因	処置	参照 ページ
接続時	電源が入らない	電源コードの接続不良	「取付要領書」に従って、正しく配線してください。	別冊
		車のバッテリーがあがっている	バッテリーを確認してください。	別冊
		ヒューズが切れている	ヒューズが切れた原因を解決し、切れたヒューズと同じ容量のヒューズと交換してください。	別冊
共通操作時	画像が出ない	自動車が走行中である	安全な場所に車を停車させ、パーキングブレーキを引いてご覧ください。	—
		表示したいモードになっていない	モードを切り換えてください	24
		操作ボタンまたはリモコンのボタンを押していない	本説明書をご覧ください。	—
	画像が明るいまは暗い	車内の温度が低い	ヒーターで車内の温度を上げてください。	—
		明るさの調節が不適當	本説明書をご覧ください。	49
	画像の色合いが悪い	色合いの調節が不適當		49
	音が悪い(歪む)	音量を上げすぎている		44
	音が出ない	音量が最小になっている	周波数を合わせてください	44
		ラジオの周波数と本機設定周波数が合っていない		25、36
	ナビゲーションの音声案内、操作音がスピーカーから出ない	リアスピーカしか接続されていない	ナビゲーションシステムの音声案内や操作音はフロントスピーカーのみから出力されます。2スピーカーシステム車では、フロントスピーカー出力に接続してください。	別冊
	画面にナビゲーションの画像が映らない	画面表示がナビゲーション画面に切換わっていない	画面表示をナビゲーション画面に切換えてください。	43
		ナビゲーションが正しく接続されていない	ナビゲーションの接続を確認してください。	—
	バックカメラに切替わらない	バック(リバース)信号が接続されていない	正しく確実に接続されているかどうか、もう一度確認してください。	—
		「モニタ設定」の「バック運動」の設定を「運動」に設定していない	「モニタ設定」の「バック運動」の設定を「運動」に設定してください。	42
時計表示がおかしい(ナビゲーション接続時)	ナビゲーション機器のGPSが受信できていない	GPSが受信できる場所に移動してください。	—	
ナビゲーションの音楽(ミュージックフォルダー/CD/DVD)がフロント右側のスピーカーからしか聞こえない	ナビゲーション機器の音声出力先設定ができていない AVの設定→モニタ選択「1dinAudio」	くわしくはナビゲーション機器の取扱説明書に従って設定を行ってください。	別冊	

	症状	原因	処置	参照 ページ
ラジオ受信時	受信できない 雑音が多い	放送局の周波数に合っていない	正しいチャンネルに合わせてください。	25
		電波状態が悪く受信できない	正常に電波が受信できる場所に車を移動してください。	—
		ネオンサイン、高圧線、アマチュア無線、他の自動車からの影響		
		アンテナが伸びていない	モーターアンテナの入力端子をパワーアンテナリード線に接続してください。	別冊
		他の搭載機器から妨害電波を受けている	お互いの配線をなるべく離してください。	別冊
	自動選局ボタンを押しても選局しない	強い電波の放送局がない	手動で選局してください。	25
MD操作時	MD再生中に、大きな雑音が出る MDの再生が途中で止まる MDが自動的に出てくる	MDが極端に汚れている	MDを交換してください。	62
		MDの曇り、またはMDに水滴が付いている		
		録音されていないMDを挿入した		
		MDが正しい向きに挿入されていない	MDを取り出して正しい向きに挿入してください。	29
	MD取出しボタンを押してもMDが取り出せない	故障です。	販売店にご相談ください。	—
テレビ受信時	受信できない	アンテナコードの接続不良	「取付要領書」に従って、正しく配線してください。	別冊
	映りが悪い 雑音が出る	放送局の周波数に合っていない	正しいチャンネルに合わせてください。	36
	自動選局ボタンを押しても選局しない	山間部、高層ビル街などで電波状態が悪く受信できない	正常に電波が受信できる場所に車を移動してください。	—
	画像にはん点やしま模様が出る	ネオンサイン、高圧線、アマチュア無線、他の自動車からの影響		
		他の搭載機器から妨害電波を受けている	お互いの配線をなるべく離してください。	別冊
	画像が二重三重になる	近くの山やビルで電波が反射している	アンテナの位置、方向、高さを調節してください。または、他の場所に車を移動させてください。	別冊 —
	画像に色がつかない	白黒の番組を受信している	他の番組に切り換えて確認してください。	36
	画像が不鮮明	電波が弱いまたは受信中の放送局のエリアから外れている		
映像が粗く表示される	画面モードの設定が「シネマ」「ズーム」になっている	画面特有の現象で、故障ではありません。	48	

故障かなと思ったら(つづき)

	症 状	原 因	処 置	参照 ページ
リモコン 操作時	リモコン操作を受け付け ない	電池が入っていない	電池を入れてください。	13
		電池の入れ方が間違っている	正しく電池を入れ直してください。	13
		電池が消耗している	新しい電池に交換してください。	13
		リモコン信号受信部に向けて操作 していない	正しく操作してください。	16
		リモコン信号受光部またはリモコ ン信号送信部が汚れている	清掃してください。	—
		リモコン信号受光部に直射日光が 当たっている	直射日光をさえぎってください。	16

リセットについて



リセットボタン

リセットについて

次のようなときは、本機をリセットしてください。

- 接続が終わった後
- 正しく動作しなくなったとき
- 画面およびサブ液晶画面が正しく表示されなくなったとき

リセットのしかた

1. ボールペンの先などでリセットボタンを押す
 - TVモニターが自動的に収納および立ち上げ動作をします。(収納時に押したときは、立ち上げ動作のみ)

お願い

- 収納に支障が無いが確認してからリセットボタンを押してください。

リセットされる項目

本機をリセットすると以下の設定がリセットされます。もう一度設定し直してください。

<システム設定>

項目	リセット後の設定値
VIDEO1 外部入力	OFF
VIDEO2 外部入力	OFF
AV 情報表示	OFF
NAVI ガイド	MUTE
操作音	ON
ボタン照明	ACC 連動

<モニター設定>

項目	リセット後の設定値
オートディマー	OFF
イルミ連動	連動
バック連動	連動
オープン/クローズ	AUTO
セットバック	OFF

- 時計設定、SOUND 設定、VOLUME、FM/AM/TVのプリセット、ASPECT 設定もリセットされません。

機能設定メニュー(メニュー別索引)

システム設定

		説明
P.41	Video1外部入力	VIDEO1として本体後面よりの外部入力表示する(ON)、しない(OFF)を選択します。
P.41	Video2外部入力	VIDEO2として本体前面よりの外部入力表示する(ON)、しない(OFF)を選択します。
P.43	AV情報表示	NAVI地図画面上に現在選択中のソース情報を表示する(ON)、しない(OFF)を選択します。
P.45	NAVIガイド	NAVIの誘導音声出力時にソース音を消音する(MUTE)、しない(MIX)を選択します。
P.21	操作音	操作時に操作音(ビーブ)を鳴らす(ON)、鳴らさない(OFF)を選択します。
P.21	ボタン照明	ボタン照明の点灯を車のACC ONに連動(ACC連動)、イルミネーションに連動(ILL連動)を選択します。

モニター設定

		説明
P.50	オートディマー	周囲の明るさに応じてディスプレイの明るさを調節する(ON)、しない(OFF)を選択します。
P.51	イルミ連動	車両のイルミネーションに応じてディスプレイの明るさを調節する(ON)、しない(OFF)を選択します。
P.42	バック連動	車両のリバース信号に連動してカメラ入りに切替わる(ON)、切替わらない(OFF)を選択します。
P.18	オートオープン/クローズ	モニターの立ち上げ/収納を自動でおこなう(AUTO)、手動でおこなう(MANUAL)を選択します。
P.19	セットバック	モニターの立ち上げた後、モニターを自動的に後ろに下げる(ON)、下げない(OFF)を選択します。

時計設定

P.23 時計設定画面を表示させます。ナビ接続時は選択できません。

放送局名設定

P.40 放送局名設定画面を表示させます。ナビ未接続時は選択できません。

索引

A		ご注意とお願い	4
AV 情報表示	21, 43	コントラスト調節	49
B		サ行	
BALANCE 調節	47	再生モード	32
BASS 調節	47	時刻表示	35
F		システム設定画面	21
FADER 調節	47	周波数登録	26
M		周波数の呼び出し	27
MD ディスクの取扱い	62	受信チャンネルの変更	40
MD の聞きかた	29	仕様	60
N		セットバック	22
NAVI ガイド	21, 45	ソースの切換え	24
T		操作音	21
TREBLE 調節	47	タ行	
V		低音(BASS)調節	47
Video1 外部入力	21	ディスクスキャン	34
Video2 外部入力	21	ディスクランダム	33
Video 外部入力設定	41	テレビの見かた	36
ア行		特長	3
明るさ調節	49	時計設定	23
アフターサービス	59	時計表示	35
イルミ連動	22, 51	トラックリピート	32
色合い調節	49	ナ行	
色の濃さ調節	49	ナビゲーション	43
映像調節	48	ハ行	
オートオープン/クローズ	22	バック連動	22
オートディマー	22, 50	バック連動設定	42
音質調節	47	ビデオの見かた	41
音声調節	44	プリセット登録	
音量調節	44	テレビ	37
力行		ラジオ	26
各部の名称とはたらき		放送局の登録	37
本体	8	放送局の呼び出し	38
本体後面部	12	放送局名称の変更	40
モニター部	10	保証書	59
リモコン	14	ボタン照明	21
画質調節	49	マ行	
カメラ映像の見かた	42	メニュー別索引	56
画面モード	48	モニター	
機能設定画面	20	一時的に手前に倒す	19
機能設定メニュー	56	角度調整	19
グループ機能	30	収納	18
グループスキャン	34	立ち上げ	18
グループランダム	33	モニター設定画面	22
グループランダム	33	ラ行	
グループリピート	33	ラウドネス	46
高音(TREBLE)調節	47	ラジオの聞きかた	25
後席モニタ	58	リセット	55
交通情報	35	リモコンについて	13
故障かなと思ったら	52	リモコンの名称とはたらき	14

後席モニタの映像について

本機の後席モニタ用映像出力端子にモニタを接続しておく、後席でもナビゲーション画面やテレビ画面を見ることができます。表示される映像については、以下の表をご覧ください。

本機	ナビゲーション機器	液晶(前席)画面	後席画面
OFF	OFF	OFF	黒画面
	地図	地図	地図
	Audio (CD/MP3/MF)	Audio	Audio
	DVD再生*	DVD*	DVD
TUNER	OFF	TUNER	黒画面
	地図	地図⇔TUNER	地図
	Audio (CD/MP3/MF)	AudioまたはTUNER(後押し優先)	Audioまたは地図(後押し優先)
	DVD再生	DVDまたはTUNER(後押し優先)	DVDまたは地図(後押し優先)
TV(走行中)	OFF	TV(規制)	TV
	地図	地図⇔TV(規制)	TV
	Audio (CD/MP3/MF)	AudioまたはTV(規制)(後押し優先)	AudioまたはTV(後押し優先)
	DVD再生	DVDまたはTV(規制)(後押し優先)	DVDまたはTV(後押し優先)
TV(停車中)	OFF	TV	TV
	地図	地図⇔TV	TV
	Audio (CD/MP3/MF)	AudioまたはTV(後押し優先)	AudioまたはTV(後押し優先)
	DVD再生	DVDまたはTV(後押し優先)	DVDまたはTV(後押し優先)
MD	OFF	MD	黒画面
	地図	地図⇔MD	地図
	Audio (CD/MP3/MF)	AudioまたはMD(後押し優先)	Audioまたは地図(後押し優先)
	DVD再生	DVDまたはMD(後押し優先)	DVDまたは地図(後押し優先)

*) ナビゲーション操作用のリモコンの「現在地」ボタンを押すことで、液晶(前席)画面が、地図になります。

保証書とアフターサービス

保証書について

- この製品には保証書が添付されています。
- 所定事項の記入<販売店印><お買い上げ日>および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。
- 万一故障した場合の無償修理期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービスについて

- 調子が悪いときは、まずこの説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

保証期間中の修理は



保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は



修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有償修理いたします。

なお当社はナビゲーションシステム関連機器の補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を製造打ち切り後6年間保有しています。

- アフターサービス(修理)に関するお問い合わせは、お買い上げ店、別紙サービス相談窓口一覧表の地区別サービス店ならびに代理店相談窓口にご相談ください。

仕様

- 本機の仕様および外観は、改良のために予告なく変更することがあります。

共通部	電源電圧	DC12V (10.8 ~ 15.6V を使用可)
	最大消費電流	10A
	外形寸法	178(W) X 50(H) X 165(D) mm
	質量	約 2.2kg (接続コード類含まず)
	使用温度範囲	-10℃ ~ 55℃

受信機部	● AM チューナー部	
	受信周波数範囲	522 ~ 1,629kHz
	実用感度(S/N : 20dB)	30dBuV
	S/N	40dB 以上
	実効選択度(± 9kHz)	50dB 以上
	● FM チューナー部	
	受信周波数範囲	76.0 ~ 90.0MHz
	実用感度(S/N : 30dB)	10dBf
	S/N	50 dB 以上
	周波数特性	30 ~ 12,000 Hz ± 3dB
	ステレオセパレーション	40dB 以上(65dBf 入力 1kHz)
	● TV チューナー部	
	アンテナ選択	4ch ダイバーシティ方式
アンテナインピーダンス	75 Ω 不平衡	
受信チャンネル範囲	1 ~ 12 チャンネル (VHF 部), 13 ~ 62 チャンネル (UHF 部)	
音声実用感度(S/N : 30dB)	20dBuV	
音声 S/N	45dB 以上	
映像 S/N	40dB 以上	
周波数特性	30 ~ 12,000 Hz ± 3dB	

MDプレーヤ部	形式	ミニディスクデジタルオーディオシステム
	周波数特性	20 ~ 20,000 Hz ± 2dB
	S/N	90dB 以上 (IHF-A)
	高調波ひずみ率	0.01%
	ダイナミックレンジ	80dB
	チャンネルセパレーション	90dB
	D/A 方式	1 bit D/A 方式


モニター部	画面サイズ	対角 18cm(7 インチワイドディスプレイ)
	駆動方式	TFT アクティブマトリックス方式
	液晶	透過型 IPS 方式フルカラー液晶パネル
	バックライト	冷陰極管エッジライト方式
	有効表示領域	154.08mmX87.05mm
	有効画素数	336、960 ドット(水平 1440 × 垂直 234)
	視野範囲	(コントラスト比 ≥ 10) 上/下: 85/85 (deg) 左/右: 85/85 (deg)
表面処理	AG+LR コート	

その他	●外部入力部	
	映像入力レベル	1Vp-p/75 Ω
	最大音声入力レベル	0.5Vrms/22k Ω
	●外部映像出力部	
	映像出力レベル	1Vp-p/75 Ω
	●カメラ入力部	
	映像入力レベル	1Vp-p/75 Ω
	●オーディオ部	
	トーンコントロール	100Hz ± 12dB 10kHz ± 12dB
	ラウドネスコンター	100Hz +12dB (VOL. ステップ 1 ~ 22)
最大出力	45W × 4ch	
定格出力	19W × 4ch	
適合スピーカーインピータンス	公称 4 Ω	

MD ディスクの取扱い

MD(ミニディスク)の取扱い

■ 使用できる MD について

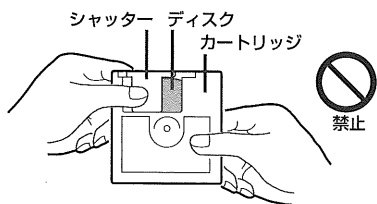
-  マークの付いた MD をお使いください。



- 長時間録音(MD-LP)されている MD も再生できます。
- 音楽以外のMDは使用しないでください。故障の原因になります。

■ 取扱上のご注意

- MDのディスク自体はカートリッジに収納されているため、ゴミや指紋を気にせず手軽に扱えます。ただし、カートリッジの汚れやそり、破損などで故障の原因となることがありますので、次の点にご注意ください。
- カートリッジのシャッターを開けて、ディスクに直接手を触れないでください。ディスクが汚れると、再生／録音ができなくなることがあります。また、無理にあけるとこわれます。

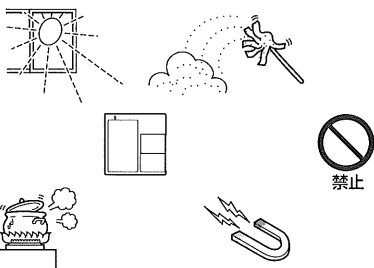


■ ラベルについて

- MDに付属のラベルは、必ず指定の位置に貼ってください。指定以外の位置に貼ったり、2枚重ねて貼ったりすると、MDが取り出せなくなることがあります。
- ラベルがめくれれたり、浮いたりしたMDは使用しないでください。ラベルが引っかかり、MDが取りだせなくなります。このようなMDは新しいラベルに貼り替えてからお使いください。

MDの保管

- 使わないときは、本機から取り出し、ケースに入れて保管してください。
- 次のような場所を避けて、保管してください。
 - ・ 直射日光の当たるところ
 - ・ 高温になるところ（炎天下の閉めきった自動車内など）
 - ・ 湿気やほこりの多いところ
 - ・ 磁気のあるところ（テレビの上やスピーカーの近くなど）
 - ・ カビの発生しやすいところ



■ お手入れについて

- MDに付属のラベルは、必ず指定の位置に貼ってください。指定以外の位置に貼ったり、2枚重ねて貼ったりすると、MDが取り出せなくなることがあります。
- MDカートリッジの表面が汚れたときは、柔らかいきれいな布で軽く拭いてください。
- MDにベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品をかけないでください。
- MD用クリーニングディスクを使用するときは、クリーニングディスクの説明書や注意書きを十分お読みください。クリーニングディスクによっては製品の故障の原因になる場合があります。

■ 寒いときの結露について

- 寒いとき、ヒーターを入れた直後にMDの再生を始めると、本機内部のレンズやMDに露が付いて、正常な再生ができないことがあります。このようなときは、1時間ほど放置して自然に露が取れるまでお待ちください。MDのカートリッジ表面に付いた露は柔らかい布で拭いてください。

